2019 チャイルドライン年次報告

Childline Annual Report 2019

特定非営利活動法人
チャイルドライン支援センター（認定NPO）

2019 チャイルドライン年次報告

目次

ご挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

「はい、チャイルドラインです。」・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2018 年 度チャイルドライン事業

子どもたちのいま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

データから見える子どもへの暴力 ・・・・・・・・・・・・・・ 8

子どもからの意見と感想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

オンラインチャット試行から正式事業へ ・・・・・・・・・・・ 12

チャイルドライン 20 周年全国フォーラム in 九州 ・・・・・・・・ 18

アウトリーチプログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

2018 年度 アドヴォカシー事業

子どもへの広報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

子どもの声を社会に届ける ・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

子どもの実態調査を実施しました ・・・・・・・・・・・・・ 24

パブリシティ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

運営体制

チャイルドライン実施団体の活動状況 ・・・・・・・・・・・・ 26

チャイルドライン支援センター運営状況 ・・・・・・・・・・・ 30

ご支援・ご協力一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

資料

統計データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

ご提供できる資料・報告書

ご挨拶

はじめに

1998 年に活動を始めたチャイルドラインは、子どもの話を聴き、気持ちを受けとめ寄り添うことを活動の基本姿勢として大切にしてきました。月日が流れ、その始まりの時に生まれた子どもたちはもう成人となっているはずです。

時代の変化に合わせ、私たちの取り組みも変化してきました。電話だけではなくオンラインチャットによる声を受けとめる体制をつくり、子どもたちと直接向き合い自尊感情を高めていくためのアウトリーチプログラムも進めています。理念はそのままに、いまの子どもたちに合わせて変わるべきところは進化していくチャイルドラインでありたいと思っています。

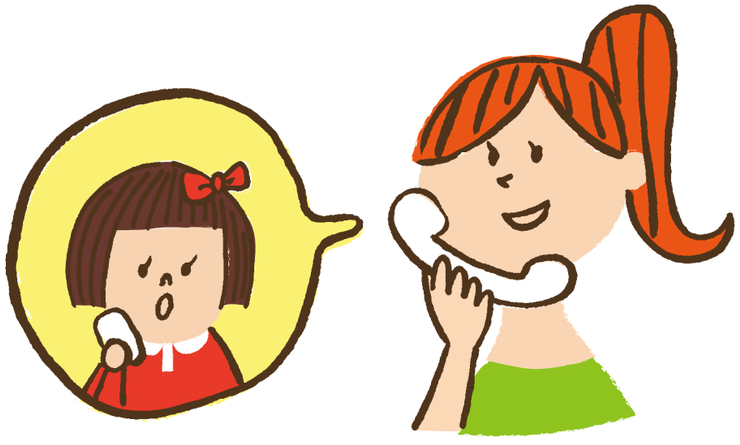
昨年度は子どもの社会調査にも取り組みました。5 年前に行った調査結果とあわせ、その後の追跡調査、そして貧困の問題が子どもたちに与える影響など、最新の子どもたちの声をまとめました。協力してくれた子どもたちは自由記述にもしっかり答えてくれて貴重な声を集めることができたと思います。今後の私たちの活動にも、また社会的にも大いに役立つ報告書が出来上がりました。

現在の子どもたちの状況はいまだ厳しく、何より大切な「生きる権利」さえ守られていない事件がニュースで流れることも少なくありません。そんな中、児童虐待防止にむけて児童虐待防止法等の改正が閣議決定され、学校教育法への体罰禁止に続き子どもたちを取り巻く暴力に対する取り組みが進んできたのは、要望を出し続けてきた私たちにとって大変喜ばしい事でありました。チャイルドラインには日々たくさんの子どもの声がダイレクトに届きます。その声を社会に届けることによって、より良い社会へと変革を起こせるよう今年度も頑張ってまいります。

　チャイルドラインはこれからも「私たちがここにいるよ」というスタンスで子どもたちに寄り添い続けます。そして「自分の味方になってくれる人がいる」「自分はひとりじゃない」という安心感とともに、子どもたちが生きやすい社会にしていきたいと思っています。今後ともご指導、ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

代表理事　松江比佐子
梅澤　元彦

チャイルドライン議員連盟総会にて



「はい、チャイルドラインです。」

「チャイルドライン」は18歳以下の子どもの話を聴く活動です。
子どもたちは、行きどころのない気持ちやさびしさ、深刻な悩みを話してくれます。
わたしたちはどんな話、気持ちでもまずは受けとめることからはじめます。
そして子どもをひとりの人間として尊重し、話を聴いていくなかで、できることを一緒に考えていきます。
子どもは話すことで気持ちを整理し、解決するための一歩を踏み出します。
話を聴いてもらうことで、自分への理解者がいると感じることもあるでしょう。
一人でも多くの子どもの気持ちが軽くなるよう子どもの話に耳を傾け、
安心できる"こころの居場所"でありたい、チャイルドラインはそう考えています。

チャイルドラインの目的と使命

チャイルドラインは「子どもの権利条約」の理念に基づき、子ども主体の「子どもの最善の利益」の実現を目指しています。そしてその目的を達成するため、こどもの「声」を聴き、気持ちを受けとめ、寄り添っています。そして、受けとめた子どもの「声」から気づいたことを社会に発信することも重要だと考えています。(「子どもの権利条約」) は 1989 年に国連で採択された国際条約で、日本は 1994 年に批准しています。

わたしたちの願い

子どもの願いは何か、おとなとしてするべきことは何か。私たちは子どもの声に学び、一緒に考えていきたいと思います。

世の中全体でコミュニケーション力が低下しているとも言われますが、人は自分を受けとめてくれる相手、こころを開いて話せる相手を求めているように思います。しっかり気持ちを受けとめることで、お互いの信頼を築くことができると信じています。

私たちは、子どもの話に耳を傾けるおとなが増え、子どもの笑顔が増えることを願っています。

社会的役割

子どもの話を聴いたままにするのではなく、そこから見える社会課題や子どもたちの状況を社会に発信していくことで、子どもが生きやすい環境をつくっていきたいと考えています。そのため、子どもたちの声をデータとしてまとめることや、講演会などを通して"話を聴くこと"の大切さを社会に啓発する活動を重ねています。また、行政・企業・他団体とも連携して「子どもの最善の利益」が保障される社会をつくるために何が必要かを話し合い、協働していくことにも取り組んでいます。

これまでの歩み

1970 年代	北欧で子どものためのホットライン活動が始まる
1986 年	イギリスでチャイルドラインが開設される (当時のイギリスでは虐待が社会問題となっていた)
1998 年	日本でチャイルドライン始まる
1999 年	チャイルドライン支援センター設立
2008 年	全国統一番号フリーダイヤル試行開始 (月曜～土曜日 16:00 ～21:00)
2009 年	全国統一番号フリーダイヤル運用開始 (月曜～土曜日 16:00 ～21:00)
2016 年	オンラインチャットでの相談の試行始まる
2018 年	全国統一番号フリーダイヤルが毎日受信へ
2019 年	オンラインチャット相談正式事業化
	6 月 30 日現在
	全国 39 都道府県 68 団体がチャイルドラインの活動をしている (開設準備 1 団体)
	世界ではチャイルドヘルプラインとして 146 ヶ国で活動が行われている
	(CHI　Child　Helpline　International 本部オランダ・アムステルダム)

2018 年度活動の概要

通年	統一番号フリーダイヤルの実施 (0120-99-7777) とデータベースの集積
随時	オンラインチャット相談試行
随時	アウトリーチプログラム
随時	チャイルドライン活動への理解を求める企業訪問、渉外活動
随時	子どもたちへの広報活動
年3回	ニュースレターの発行
6月2日	通常総会
6月6日	「広がれボランティアの輪」総会
8月25日	2018チャイルドライン年次報告発行
9月7日～9月24日	エリア会議開催
11月10日～13日	チャイルドライン20周年　全国フォーラムin 九州
12月7日	チャイルドライン支援議員連盟　勉強会開催
12月8日･9日	全国運営者会議
12月～2月	子ども実態調査実施
2月9日･10日	オンラインチャットネットワーク会議･研修
3月18日	厚生労働省　自殺防止対策事業ヒアリング
3月25日	チャイルドラインガイドライン(2019年3月版)完成

子どもた ちのいま

チャイルドラインのデータ　から見える子どもの状況

〈統一番号フリーダイヤル　2018 年 実施概要〉

電話番号 : 0120-99-7777（日本全国共通 / 携帯電話、公衆電話も通話無料）
実施日時 : 毎日 16 時～21 時　※一部地域では時間延長して実施（年末年始は休止）
後援（2018 チャイルドライン全国キャンペーン）:
内閣府　文部科学省　厚生労働省　総務省　公益社団法人日本小児科医会　公益社団法人日本医師会
社会福祉法人全国社会福祉協議会　特定非営利活動法人日本 NPO センター

〈オンラインチャット試行　2018 年実施概要〉

チャイルドライン支援センターウエブサイト上に専用ページを設置　https://childline.or.jp/chat
実施日時 : 毎週木曜日・隔週金曜日 16 時～21 時　年 3 回のキャンペーン実施（年間 93 日）
協力 : 株式会社チャモ

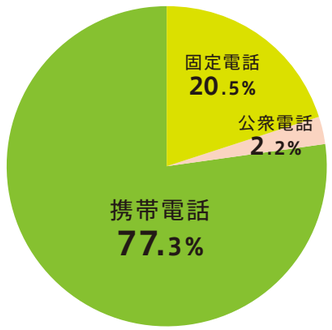
18 万 6 千件の電話を着信、チャット相談は 2,254 件に対応しました。

電話 0120-99-7777	2018 年度	2017 年度
着信数	**186,363 件**	198,434 件
1 日平均	505 件	542 件

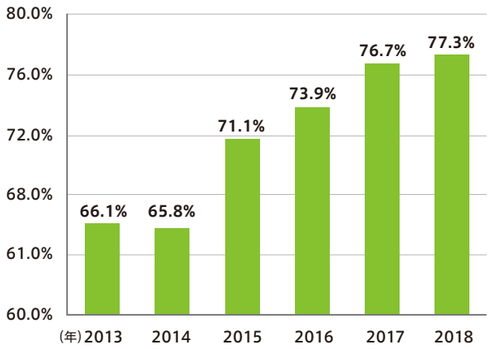
※ 12 月 29 日～1 月 3 日を除く 359 日

チャット相談	2018 年度	2017 年度
対応件数	**2,254 件**	1,234 件
一日平均	24 件	21 件

発信端末	2018 年度	2018 年度比率	2017 年度比率
固定電話	98,035	**20.5%**	20.3%
公衆電話	10,359	**2.2%**	3.0%
携帯電話	370,144	**77.3%**	76.7%



発信端末



携帯電話率の変化

子どもからの電話・チャット事例　（再構成）※プライバシーに配慮し、再構成したものです。

●寮生活だけど、1学年上の先輩と同学年の子が自分の悪口をずっと言うのが辛い。その友だちとトラブルになって生徒指導を受けたそのことで、今度、自宅に帰ったら親からも怒られるかも。行き場がない。
（中学男子）

●友だちにいじわるされて先生に相談したら注意してくれてとまった。でも、しばらくしたら、またいじわるしてきた。いじわるする子が自分の仲良しの子としゃべってる。一番イヤなのは友だちを取られること。新学期、学校に行きたくない。
（小学校低学年男子）

●小さい頃から周りの価値観に合わせて、人に変に思われないように気を配って平均的な関わり方をしてきました。月日が経つごとにエネルギーがなくなってきています。生きていることが好きではないです。
（中卒女子）

●中学になる時引っ越してきた。知らない子ばっかりだったから、友だちをつくるのにがんばった。
仲良しの友だちができたけど、最近その子に嫌われたみたい。もう学校に行きたくない。
（中学生 女子）

●体は女だけど、自分は男だと思っている。学校でも男として見られたい。カミングアウトしたら、やっぱりヘンな目で見られるかなぁ
（高校生）

●リスカしちゃうのは景気づけ？みたいなもの。死ぬためじゃないよ。生きるためだよ。でも、死んじゃってもいいかな、とも思う。
（中2 女子）

●母子家庭で兄弟に障害もあって、母も死にたいって言ってる。でも、何にもしない。普通の家にうまれて大学に行きたかった。自分より成績の悪い友だちだって大学行くのに。（高3 男子）

●中学受験でがんばって今の学校に入った。受験がなくて楽かなと思ったけど、勉強についていけないし、やることもたくさんあって毎日追い詰められている。
（高2 女子）

●母親がうつ病。心配だけど、いなくなっちゃえばいいって思う自分がいて、そんな自分が嫌で、自分が死ねばいいのかな、って思ってる。（中3　女子）

●学校に行けない。それなら家から出ていって働けと父が言う（高校 男子）

●やりたいことがあった。でも、すごく才能のある友だちが同じ習い事をしていて、自分は無理って思った。もう死んじゃってもいい気がする。（中学 女子）

●家より学校が楽しい。家にいるときの方がひとりぼっちで孤独。（中2 女子）

●兄弟でいつもけんかしちゃうけど面白いこともいっぱいするから楽しい。
（小4　男子）

● カードもらってかけてみた。夏休み楽しい！
（小3　女子）

データから見える　子どもへの暴力

2019年、子どもの権利条約採択30周年、批准25周年を迎えます。
しかし、いまだに起こる虐待死事件、体罰による自殺などは子どもの権利侵害といえます。
子どもがわかりやすくSOSを発信していたにもかかわらず、おとなの問題が優先されたがために
助けられなかった命には本当に心が痛み、あらためて、おとなとして何をすべきかを考えさせられます。
チャイルドラインには大きく2つの役割があり、
1つは電話やチャットで子どものエンパワメントへの支援をすること、
もう1つは子どもが生きやすい社会をめざし、子どもの育つ環境をよりよくしていくよう
行政や地域に働きかけをすることです。
SDGｓ(持続可能な開発目標)でもあらゆる暴力の撲滅を目指しています(目標16)。
たびたび虐待死が起こる現状を変えていくには、地域のあらゆる立場のおとなが枠を超え、
知恵を出し合い、連携することが必要です。

虐待と思われる子どもからの電話・チャット事例（再構成）

※プライバシーに配慮し、再構成したものです。

●母の彼が家にやってきて、お金を取ってしまうし、怒鳴ったり、殴ったりひどかった。自分は高校やめて家出した。彼と暮らしている。でも、残してきた弟と妹が気がかり。まだ小さい。児相とかじゃなくて、いつか自分が引き取って一緒に暮らしたい。どうしたらいいだろう。

●自分はいま施設にいる。でも、家に入れてもらえなかったり、ご飯を食べさせてもらえなかったり、たたかれたりしたことを思い出してしまう。夜は嫌いだ。

●里親と暮らしている。幼い時に虐待されていた。(と言われている)
自分をみてほしい。飛び降りたりすれば、自分を見てもらえるだろうか。

●友達が、両親に虐待されているようだ。リスカもしている。自殺しちゃうかもしれない。

●怒鳴りつけられて、家を追い出された。昔から、ずっと、怒鳴られたり、いつ死ぬんだと言われたり、殴られたり、してきた。金を稼げと言われてバイトしている。バイト先の人は優しい。一応通信の高校にはいかせてもらっている。

●家に、お母さんのお客さんが来ると外に出される。そのおじさんは僕を殴る。お母さんもやめさせてくれない。学校が休みの日は３００円くれて夜まで帰れない。早く帰ると殴られる。

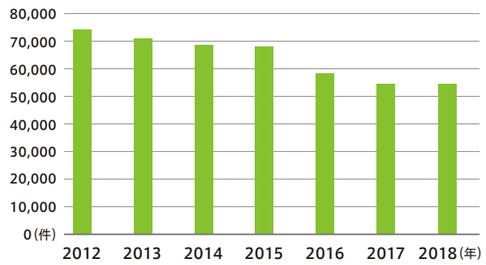
●悪い点を取るとお父さんにたたかれる。いろんなことがお父さんの言うようにできないとたたかれる。僕が頭が悪いからしかたない。お母さんがお父さんを止めてくれる時もあるけど、そうするとお母さんがお父さんに怒られる。僕のせい。

主訴＝虐待の電話件数増加について

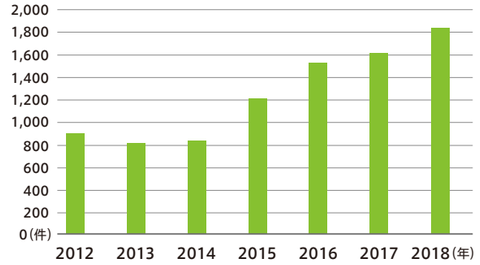
2012 年度から 2018 年度のデータをみると、虐待を主訴とする電話は増加しています。
(いじめをはじめその他の主な主訴は会話成立数の減少と比例して減少傾向)

以前の電話の現場では「子どもは虐待されているとは言わない」というのが定説でしたが、最近は虐待を訴えてくるようになっています。子どもたちは自分が受けている暴力が「虐待」であることに気づきはじめたのかもしれません。すでに児童相談所に関わっている子どもからの電話が入ってくることもあります。「こんなに世間が騒いでいる今だったら、おとなは自分の話に耳を傾けてくれるのではないか」と思ったのかもしれません。もしそうであるなら、その小さな希望を消してしまわないよう、おとなである私たちは今、心してかからなければなりません。

会話成立件数

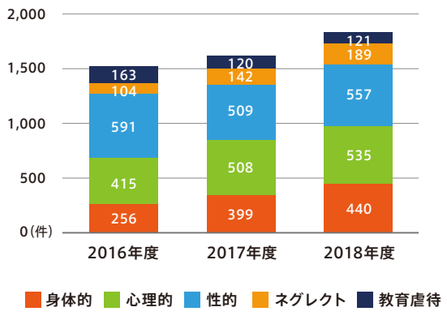


虐待



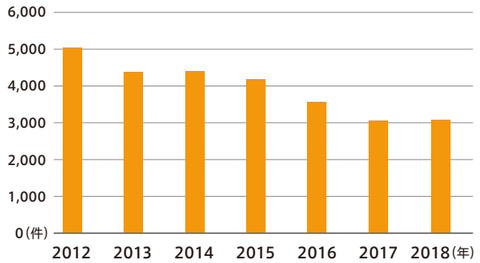
会話成立件数の中で虐待が主訴と思われる電話は増加しています。割合でみても 2012 年度 1.2％から 2018 年度には 3.4％にまで増加しています。

虐待の内訳の推移



※チャイルドラインの特性上、同じ子どもが複数回かけてきている可能性あり

(参考)
いじめ



いじめを主訴とする電話は減少してきています。いじめについての様々な対策が取られてきた効果かもしれません。(2012 年 6.8％から 2018 年度 5.7％へ減少)

子どもからの　意見と感想

きりたい時にきれるから安心してできます。（不明）

初めてだったかが優しかった。一回め緊張しすぎて真っ白になり、後でかけ直しますと繋がった直後にきってしまった。それでもまたかけてねと優しく言ってくれた。私も将来こんな優しい人になれるかな。（ 不明 ）

どうして、ネットで繋がることが、少ないのですか？1か月に２週間は、やってほしいです。（11 歳 女子）

電話しようかしないかとても迷いました。でも、電話して良かったです。電話がかかるまで緊張していたのですが、つながるとすぐに女性の方が「どうしたの？」とすごく落ち着いた優しい声で対応して下さったので、安心して自分が話したいことを話すことができました。私の気持ちになってお話を聞いてくれました、、、。さらに、私が「頑張ります」というと、「頑張らなくていいんだよ、また辛くなったら電話してきてね」と言ってくれました。その言葉を聞いた時、" 私は1人じゃないんだ " と気付かされました。本当にありがとうございました。（18 歳女子 ）

電話だと怖くて、何も言えなかったけどチャットを通して話してとても楽になりました。（12 歳女子 ）

会話を誰かに聞かれるのが嫌で、なかなか電話が出来る機会が無くて (家に誰かがいることが多いため) チャットを利用しました。家族に話しても理解してもらえない悩みを親身になって聞いて下さりました。改めて気づかされたことも多く、救われました。私のように電話相談がしにくい子もいると思います。チャット相談の期間を延ばすか、常設して頂けたら嬉しいです。ご検討よろしくお願い致します。　（17 歳女子）

インターネット上でチャイルドラインの人は怖いと言う意見がおおかったのですが、実際に電話してみたら、とことん話に付き合ってくれて、思っていた悩み事が少しスッキリしました！本当にありがとうございました！！（ 中 1 女子 ）

話を聞いてくれありがとう。いつもチャイルドラインには、助けられてるよ。ありがとう（18 歳女子 ）

チャット相談は、嬉しいですがもうちょっと時間を長くし、やる日も増やしてもらいたいです。相談したい時間や日には、やってないことが多いです。（12 歳女子 ）

全然繋がらないよ。（ 不明 ）

チャットで相談してみたのですが、とても親切にしてくださったし、自分の考えに共感してくれました！
私はあまり自分の意見が言えないです。ですが、言える雰囲気を作ってくれて、自分のペースに合わせてお話してくれました！
本当にありがとうございます。m(_ _)m（11 歳女子 ）

自分の悩みに共感してくれる人がいて本当に良かった。
味方はやっぱりいるんだなと実感した。
（17 歳男子 ）

悩んでいたことが沢山ありましたが、一つ一つ聞いてもらううちに何故か心が軽くなっていました。初めは知らない人と話すなんてきっと会話が続かないだろうと思っていました。でも、気づけば 1 時間も話していました。真剣に自分の悩みを聞いてもらえたことは本当に嬉しかったし、なによりとても話しやすかったです。また悩みがあったら電話を掛けてみようと思いました。（16 歳女子 ）

話を打ち切られてしまい、そろそろいいかな？と言われてしまった。きりたいときに切っていいと書いてあったのにもっとたくさん話したかったのに残念です。（16 歳女子 ）

先生や親に相談できなくても、しにくい相談でも、快く対応してくれた。実際に私は他の人に絶対相談できないと諦め、困っていた事を相談して、気が楽になった。本当に感謝。（13 歳男子 ）

学校でカードをもらい気になったので調べ、先ほど私の悩みをチャットで聞いてもらいました。最初はホントに返事くれるのかなと思っていました。私の話を聞いてくれた方は、私の意見を尊重して優しく寄り添ってくれました。否定はされませんでした。それがとても嬉しかったです。ここで話せて気が楽になりました。頑張って話して良かったです。本当にありがとうございました！私も頑張ります。また悩みがあれば利用させていただきたいです。私も将来、人の助けになれるようなカッコイイ大人になりたいです。本当にありがとうございました！！（14 歳女子 ）

電話をしてもなかなか本題を切り出せなくて、電話の向こうの人が困っているだろうなと思って、毎回毎回なにも言えずに電話を切ってしまいます。こんな事してたら、電話に出てもらえなくなってしまうことってありますか。（11 歳女子 ）

16 時～21 時なんて助ける気あるの？
電話じゃ伝えにくいし。
親や学校に秘密で直接会って話せたらいいのに。（10 代女子 ）

ずっと気持ちがもやもやしていて、思っていたことをめちゃくちゃになりながら言っても、ずっと優しく聞いてくれて相談しやすかったです。（13 歳女子 ）

※チャイルドラインのウェブサイトを通じて寄せられた感想・意見・質問です（公表することを明記し募集しています）。

オンラインチャット　試行から正式事業へ　実施報告（2015年度～2018年度）

子どもが身近に感じることができる方法で、さまざまな状況の子どもの声を受けとめるため、
2014 年度にチャイルドラインの中期目標の 1 つに「電話以外のツールの模索」を掲げました。
インターネットを使ったコミュニケーションツールの導入について検討し、
子どもがコミュニケーションとして文字でのチャットを活用していることを受け、
2015 年度よりオンラインチャットの試行に取り組んできました。
2016 年 3 月から始まった試行ですが、2018 年度までに 14 のチャイルドライン実施団体が
研修を受けました。（2019 年 3 月までに、15 か所で 166 名がチャットの対応にあたりました。）
文字に表すことで子どもが気持ちを整理し、自分で結論にたどりつく様子も見られるなど、
チャットで子どもの気持ちを聴き、寄り添うことの可能性を見出してきました。
取り組んでいくべき課題はありますが、子どものニーズに応えるツールとして試行を経て、
2019 年 4 月より正式事業として取り組んでいきます。

オンラインチャット試行のあゆみ

2013 年	• 子どもへのアンケート調査を実施し、電話以外のツールに対する需要を確認
2014 年	• 中期目標のひとつとして「電話以外のツールを模索する」を掲げる
2015 年	• 「電話以外のツールの模索プロジェクト」実行委員会発足 電話と近い特性を持つ、子どもと受け手 1 対 1 チャットでの試行を決定 • 「Chamo Chat」の使用決定　(社会貢献として無償提供) • 公開講座「子ども・若者のためのオンライン相談～イギリスの実践に学ぶ」開催 • 第 1 回受け手養成研修実施（受講者 13 名） • 子どもへの広報として、約 8 万枚のカード配布とウェブ上での周知を実施 • 第 1 回試行実施　2016 年 3 月 24 日（木）～ 3 月 30 日（水）
2016 年度	• 年 3 回のキャンペーン試行を実施
2017 年度	• 年 4 回のキャンペーンに加え、9 月より月 4 回の定期的試行実施（木曜日、金曜日を交互に実施） • 文科省「SNS を活用したいじめ等に関する相談体制の構築に係るワーキンググループ」への参画
2018 年度	• 正式事業化に向けて、オンラインチャット相談の実施に関する共通ルール （手引き、セキュリティポリシー）策定、研修プログラムの改良に取り組む • 年 4 回のキャンペーンと 6 月より毎週木曜日と隔週金曜日に定期的試行を実施
2019 年度	• 正式事業として取り組み開始

実績データ

（1）年度別の推移（chamo のアクセス分析ツール、チャイルドラインデータベースより）

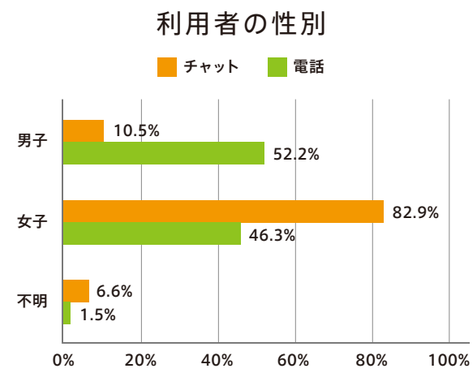
期間	日数	利用人数	対応件数（会話成立）	総対応時間	平均対応時間
2015 年度	7 日	173 人	105 件	3,376 分	32 分
2016 年度	28 日	1,658 人	375 件	16,006 分	43 分
2017 年度	57 日	5,711 人	1,234 件	48,826 分	40 分
2018 年度	**93 日**	**11,021 人**	**2,254 件**	**95,755 分**	**42 分**
合計	185 日	18,563 人	3,968 件	163,962 分	41 分

期間	1 日平均利用人数	1 日平均対応件数	対応率／利用人数
2015 年度	24.7 人	15.0 件	60.7%
2016 年度	59.2 人	13.4 件	22.6%
2017 年度	100.2 人	21.6 件	21.6%
2018 年度	**118.5 人**	**24.2 件**	**20.5%**

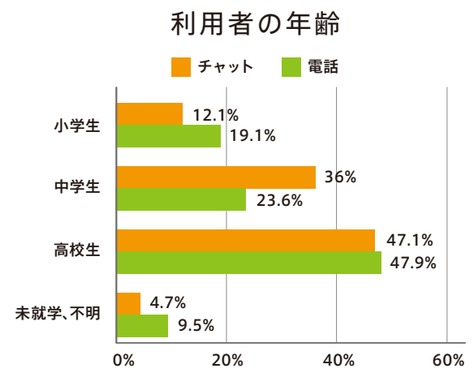
• 2018 年度は 1 万 1 千人がチャットを利用、そのうち 2,254 件に対応。
• 実施日 1 日あたり 118 人が利用し、24 件に対応している。体制強化とともに対応件数が増加してきたが、利用人数も増加しており、利用者の 5 人に 1 人しか対応できていない。

（2）利用者の属性（チャット:2015 年～ 2018 年度 3,968 件／電話:2016 年度～ 2018 年度 166,341 件　以下同）

※チャットにおける年齢・性別については、2017 年度より自動応答にてかけ手に尋ね、その返答で判断している。



電話と比べて、チャットの利用者は女子の比率が非常に高く、80％以上となっている。



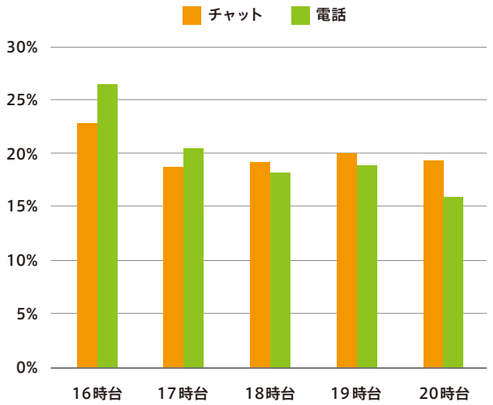
チャットは小学生の利用が少なく、中学生の比率が電話と比べて高い。

オンラインチャット　試行から正式事業へ　実施報告（2015年度～2018年度）

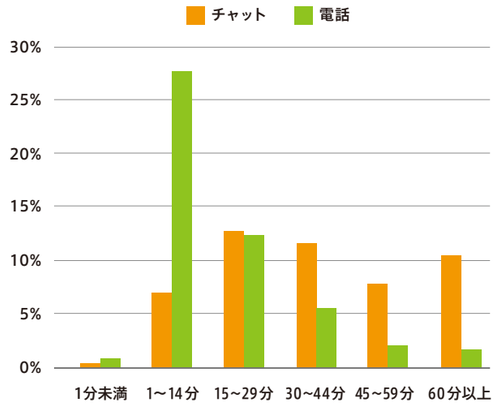
（3）利用時間帯、通話時間の分布

利用時間帯では、チャットは時間帯ごとの差があまり大きくないが、電話では 16 時台と 20 時台で 10％以上の開きがある。通話時間では、電話は 15 分未満が半分以上だが、チャットは 30 分以上が 60％を占め、20％が 60 分以上に及んでいる。

利用時間帯の分布



通話時間の分布



（4）動機、関係性

動機	チャット	電話
話を聴いてほしい	76.9%	72.2%
答えが欲しい	18.9%	16.2%
誰かとつながっていたい	2.2%	4.8%
お試し	0.6%	4.2%
チャイルドラインについて	0.2%	0.5%
社会資源情報を求める	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.1%	0.1%
その他	1.0%	1.8%
合計	100.0%	100.0%

子どもがチャイルドラインを利用した動機※は、電話と同様に「話を聴いてほしい」が最多となっている。チャットは電話と比べ、やや「お試し」や「つながっていたい」が少なくなった。チャットは文章化することで、主訴が明確になりやすいという特徴があらわれたとみられ、声によってつながる電話との差異がうかがえる。

※受け手ボランティアが感じ取ったもの

関係性	チャット	電話
自分	45.1%	49.9%
友人、知人、恋人	29.0%	25.3%
家族	14.3%	13.6%
先生、指導者	5.4%	4.2%
その他	6.1%	7.0%

話題の焦点となっている対象は、自分についてのことが多く、次に友人や知人、恋人との関係についてのことが多い。

（5）主訴（チャット対応件数 3,968 件のうち男子 415 件／女子 3,290 件／不明 263 件）

・学校や家庭の「人間関係」、「不登校」「進路」「自信のなさ」「自死念慮」「自傷行為」などで、電話よりもチャットの方が比率は高くなっている。
・女子は家庭に関することが男子よりも多い傾向がみられる。
・「性」「雑談（話し相手）」は電話と比べて非常に低くなっている。「性」に関しては、声が聞こえることで性的興奮を得ようとする“セックスコーラー”による影響が考えられる一方で、「雑談（話し相手）」が少ないのは、文章で書くことで話の要点が整理されやすく、主訴として伝わりやすいと推察される。

主訴 大項目		チャット計 n=3.968	チャット男子 n=415	チャット女子 n=3.290	チャット不明 n=263	電話 n=000
学校・フリースクール		**33.5%**	**33.3%**	**33.5%**	**33.5%**	**25.9%**
	人間関係	19.7%	15.2%	20.4%	18.3%	13.7%
	いじめ	4.6%	8.0%	4.1%	5.7%	5.5%
	不登校	3.2%	2.7%	3.3%	2.7%	0.9%
	勉強・成績	2.7%	4.6%	2.4%	3.8%	2.9%
	その他	3.2%	2.9%	3.2%	3.0%	2.9%
部活		**4.7%**	**2.4%**	**5.0%**	**4.9%**	**2.6%**
性		**3.8%**	**10.6%**	**3.0%**	**2.7%**	**15.8%**
家庭		**15.1%**	**8.4%**	**16.2%**	**11.8%**	**10.9%**
	人間関係	8.0%	5.3%	8.5%	4.9%	5.3%
	虐待	3.8%	1.7%	4.2%	1.9%	3.0%
	その他	3.4%	1.4%	3.5%	4.9%	2.6%
ネットトラブル		**1.5%**	**4.1%**	**1.1%**	**1.5%**	**0.5%**
職場		**0.5%**	**0.2%**	**0.5%**	**0.4%**	**1.1%**
地域		**1.1%**	**0.5%**	**1.1%**	**1.9%**	**1.8%**
自分		**39.9%**	**40.5%**	**39.6%**	**43.3%**	**41.4%**
	気分の落ち込み	8.7%	5.8%	9.3%	6.1%	5.5%
	自信の無さ	5.0%	7.0%	4.7%	4.9%	2.1%
	自死（自殺）念慮	2.3%	2.4%	2.2%	4.2%	0.9%
	自傷行為	1.7%	0.7%	1.9%	1.5%	0.6%
	身体、性格、容姿	4.7%	5.1%	4.8%	3.0%	5.9%
	進路・生き方	5.1%	6.5%	5.0%	4.6%	3.1%
	恋愛	3.9%	5.3%	3.8%	2.3%	4.9%
	雑談（話し相手）	1.6%	1.9%	1.3%	5.3%	11.1%
	その他	6.9%	5.8%	6.7%	11.4%	7.3%

虐待がうかがわれるチャットの内訳では、心理的虐待に関するものが最も多く、次に身体的虐待が続いている。「自死念慮」「自傷行為」を訴えるチャットにおいて利用の動機を集計したところ、「話を聴いてほしい」が 82.6％と、チャット全体の 76.9％よりも高い結果となった。このことから、「死んでしまいたい」と訴える子どもが、実は自分を受けとめてくれる相手を求めて SOS を発していることがうかがえる。

虐待（内訳）	チャット計	男子	女子	不明
身体的	38 件	1 件	35 件	2 件
心理的	78 件	4 件	71 件	3 件
性的	6 件	0 件	6 件	0 件
ネグレクト	13 件	0 件	13 件	0 件
教育虐待	14 件	2 件	12 件	0 件
虐待計	149 件	7 件	137	5 件

自死念慮・自傷行為／動機	比率
話を聴いてほしい	82.6%
答えが欲しい	11.8%
誰かとつながっていたい	3.7%
その他	1.9%
動機計	100.0%

オンラインチャット　試行から正式事業へ　実施報告（2015年度～2018年度）

試行の総括、今後の課題

有効性　～チャットを用いたコミュニケーションが子どもにとって有用かどうか

チャイルドラインが大切にしてきた「子どもが電話で自分の気持ちを話すことで、自分の気持ちに向き合い、気持ちの解消や整理、エンパワメントにつながる」という面については、文章で書き出すことも電話で話すことと同様の作用を生んでいるとみられる。子どもに向き合う・寄り添う姿勢や「聴く（アクティブリスニング）ということについては電話もオンラインチャットも基本的には変わらないと認識できた。また電話より発信しやすい子どもが一定数いることも確認できた。

実現性　～チャイルドラインとして対応は可能か

受容・共感

チャットにおいて、子どもの気持ちを受けとめ、寄り添うということが可能かどうか、という点については、受け手の感想や、「親身になって聞いてくれた」「一緒に考えてくれた」などの子どもの声から、丁寧なやりとりを心がけることで、受け手の姿勢を感じ取ってもらうことが出来たとみられる。対応にあたっては、うなずきやあいづち、オウム返しなどは「自分の話を聞いてくれた」「わかってくれた」と感じにくく、チャットにおいて受容・共感を示すためには要約や言い換え、問い返しなどがより適切であることが確認された。感情の読み取りにくさという特性に対しては、気持ちの度合いを確認したり、詳細な状況を説明してもらうことで明確化することが可能であることが確認された。

パソコン等の操作について

子どものスマートフォン操作の速度に対応できるかという点については不安を抱えていたが、短文で即座に返信してくる子どもがごくたまにみられる一方、言葉を慎重に選び、自分の気持ちを丁寧に表現しようと時間をかけて返信してくる子どもが比較的多くみられた。パソコンやインターネット、キーボード操作に不慣れな受け手でも、焦らずに時間をかけて対応することは可能であると認められた。
短文型の子どもに対しても、受け手は焦らず無理のない速度で対応することを重視しており、「返信に時間がかかりますがいいですか?」「返信に少し時間をください」など、相手の気持ちに配慮する工夫をしている。

【参考】子どもの声（チャイルドライン支援センターホームページを通じて寄せられた声）

○チャットを利用しました。家族に話しても理解してもらえない悩みを親身になって聞いて下さりました。改めて気づかされたことも多く、救われました。

○チャットで相談したのですが、とても相談しやすかったです。一緒に考えてくださって、嬉しくなりました。

オンライン全体研修
全体会議を２日間にわたり開催しました。
（2019 年２月９・10 日　Biz 新宿）

カードやポスターに QR コードを掲載し
子どもたちにオンラインチャット相談の
広報をしました。

チャイルドライン20周年　全国フォーラム in 九州

参加者のべ 380 名

11月10日(土)西南学院 大学チャペル
11月11日(日)福岡市 福祉プラザ(ふくふくプラザ)
11月12日(月)オプショナルツアー
● SOS子どもの村福岡　見学会　福岡市西区今津
● 学校法人紀国子どもの村学園　北九州市小倉南区平尾台

2018 年 11 月 10 日～ 11 日、子どもの声が届く社会をめざして～地域の連携を非常時の支援に活かす～をテーマに、チャイルドライン 20 周年全国フォーラム in 九州が開催されました。
初日は、障がい者長崎打楽団“瑞宝太鼓”の力強い演奏で幕が開き、京都大学准教授の木原雅子さんによる基調講演に続き、シンポジウムでは、かつてチャイルドラインにアクセスしてきた二人の若者が、「辛さを抱えた子ども時代を振り返る」というテーマでチャイルドラインとの関わりについて語ってくれました。二人の話はチャイルドラインの基本に立ち返り、電話に向かう気持ちを新たにさせてくれました。
２日目は、12 の分科会でさまざまなテーマで学び、また活発な議論が交わされました。

（2018 年度日本郵便年賀寄付金助成）

基調講演「あなたの声をきかせて～ WYSH 教育の視点から～」
木原雅子　（京都大学大学院准教授、医学博士、一般財団法人日本子ども財団理事長
国連合同エイズ計画共同センターセンター長）

シンポジウム「辛さを抱えた子ども時代を振りかえる」

●コーディネーター：山田 眞理子（認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」代表理事）

シンポジウムでは、かつてチャイルドラインに電話をかけたことのある若者２人に登壇していただきました。お一人は LGBT の J さん、もうお一人は家族とあわずに高校時代から一人暮らしをしていた K さんでした。J さんは、中学にいくころから自分の性に違和感があって、あえて女子高を選びました。「男女がいて、違和感が刺激されるより、一つの価値観しかない方が楽」ということばは当事者ならではの実感がありました。初めて人に打ち明けたときに大人から返ってきた言葉は「勘違いかもしれない」。J さんは、ネットで調べるけれど当時の情報では、「新宿２丁目しか生きる場所はない」と思いこみ、生きている意味を失って、最後のよりどころと思って掛けたチャイルドラインで電話に出た方が「辛かったね。あなたはおかしいわけではない」と丁寧に対応してくれて、「やっと生きていていいんだと思えた」と語ってくれました。「チャイルドラインに生きることに背中を押してもらった」「親に打ち明けるときも、チャイルドラインに相談してからにした」と J さんのことばに、チャイルドラインの意義を強く感じさせていただきました。
K さんは、度々チャイルドラインに掛ける中で力をもらったけれど、時には高校生の一人暮らしを信じてもらえなくて悲しかったことを語ってくれ、常識を振りかざさずに子どもに寄り添うこと大事さを感じました。

分科会のテーマ

（午前の部）9：30 ～ 12:00
①子どもの声を様々なツールで聴く
②子どもとメディア・アウトリーチプログラム体験
③男子の性の課題
④子どもの権利
⑤非常時の子ども支援
⑥学校と子どもたち

（午後の部）13:00 ～ 14:30
⑦ SDGs とチャイルドライン
⑧メディアの加害・被害
⑨性の多様性
⑩子どもの危機に向き合う
⑪経済優先社会と子どもたち
⑫子ども参画社会に向けて

詳しくは、報告書をご覧ください。

■主　催：チャイルドライン全国フォーラム実行委員会
（NPO 法人チャイルドライン支援センター、NPO 法人チャイルドライン北九州、認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」、NPO 法人チャイルドラインながさき、チャイルドラインさせぼ、チャイルドラインおおいた、NPO 法人チャイルドラインみやざき、チャイルドラインかごしま）
■後　援：内閣府、文部科学省、厚生労働省、公益社団法人日本小児科医会、チャイルドライン支援議員連盟、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会、マスコミ各社

アウトリーチ　プログラム

「自殺予防を視野に入れた、子どもの自己肯定感を高めるためのアウトリーチプログラム」

2016年度策定したプログラムを進行する担い手を増やすため、
各地のチャイルドラインにレクチャーをしています。
2018年度はしずおか、せたがや、とちぎ、にいがたのチャイルドラインにレクチャーをしました。
2017年度レクチャーを受けたみやざきチャイルドラインの取り組みをご紹介します。

みやざきチャイルドラインからの報告

2019 年 1 月 30 日（水）

宮崎市立倉岡小学校	5 年生	30 名参加
	6 年生	33 名参加
宮崎市立生目台西小学校	5 年生	32 名参加

2019 年 2 月 25 日（月）

宮崎市立那珂小学校	5 年生	41 名参加

宮崎市内小学生　合計	136 名参加

フォーラムシアター

アイスブレーキング

グループでの話し合いの様子

子どもたちからの意見・感想

フォーラムシアターより

●自分の意見を主張しながら、他人の意見もちゃんと聴いてあげるといいと思う。
● B 役の子どもが主張した、イオンに職場体験に行くことは悪いことではないので、行ってもいいと思う。
●それぞれの役に（発言や行動）欠点があると思う。
●意見を言わない役の人も、ちゃんと自分の意見を言ったほうがいい。

1対1のワークより

●自分の話を聴いてもらい、友だちの話も聴けてうれしかった。
●3分間話すのは長く感じた。
●相手がちゃんと聴いてくれないと悲しい気持ちになる、聴いてほしいと思った。
●友だちのうれしかったことや楽しかった話が聴けて、自分まで楽しい気持ちになった。

アウトリーチプログラムを実施して

2019 年 1 月から 2 月にかけて、宮崎市内の3つの学校、4 クラスの 5、6 年生、136 名に「自殺防止を視野に入れた、子どもの自己肯定感を高めるためのアウトリーチプログラム」の授業をしました。

初めての取り組みで、スタッフも練習を重ねるなか緊張しながらのスタートでしたが、子どもたちの積極的な参加により緊張も忘れ、スタッフにとっても学びや気づきのある貴重な時間となりました。

フォーラムシアターでは、子ども役を演じるスタッフの劇を、子ども達は食い入るような輝く目で見て、意見を交わし、発表してくれました。
導入で「どんなことを感じても、考えても、発表しても、間違いなし！」ということを子どもに伝え、様々な考えを共有できるようにしました。　子どもの言うことを全て受け入れ、評価もしないということに注意を払い進めていくことで、子どもはさらに満足し、自信を持って自由に話し合いをし、意見を出してくれていると感じました。
見学してくださっていた担任の先生や校長先生から終了後に「やはり子どもの話は、目を合わせてきちんときかないといけませんね。ドキッとする意見を言われて、日頃の対応を反省しました。」という意見や「外部から地域の大人が来て授業をすると、子どもたちの食いつきが全然違うと感じました。」という意見をいただき、今後さらに、学校とつながって活動を続けたいという思いが深まりました。
また授業後に、子どもに感想をきいたところ「自分の考えもちゃんと言って、お友達の話もちゃんと聴きたいと思いました。なにか話したいことがある時に、チャイルドラインにも電話して聴いてもらいたいと思いました。」と言われ、私たちが伝えたいことを、自然と子どもが自ら感じて、考えてくれたことに驚きました。

子どもが本当につらい気持ちになり、周りの人に相談できない状況になった時、この授業を思い出してもらい、ひとりで行き詰まることがないように一歩を踏み出し進んでいけるようにという思いを持ちながら、来年度も地道に活動を続けていきたいと思います。

（宮崎県精神保健福祉関係団体助成金事業）

子どもへの広報

子どもたちにチャイルドラインの電話番号を知ってもらい、
子どもが必要と思ったときにつながれるように、私たちは名刺サイズのカードを配っています。
チャイルドラインの実施団体のない7つの県(山形、茨城、兵庫、香川、佐賀、熊本、沖縄)の子どもたちへは
チャイルドライン支援センターより各県、市の教育委員会、学校にご協力いただき届けています。
また、全国の小児科医院6000ヶ所、児童館2800館に
ポスターを掲示することで、学校外での周知を図っています。
(ご協力:公益財団法人小児科医会、一般財団法人児童健全育成推進財団)

(1) 7 県 (空白県) の現状

7 県に住む小学生・中学生・高校生に相当する
7 歳～ 18 歳の人口は約 166 万人にのぼる
※ 2015 年度国勢調査結果より

県名	子ども人口 (7 歳～ 18 歳) ※
山形県	120,554 人
茨城県	321,842 人
兵庫県	613,975 人
香川県	106,251 人
佐賀県	100,491 人
熊本県	201,490 人
沖縄県	197,923 人
計	1,662,526 人

(2) 2018 年度の配布活動

全空白県にカード 208 万枚とポスターの配布を実施しました。

配布先	カード枚数	配布時期	配布協力
山形県	186,840枚	2019年1月～2月	ボランティアサロン (4回)
茨城県	448,560枚	2019年2月	東京海上アセットマネジメント、ボランティアサロン (2回)
兵庫県	519,640枚	2018年9月～10月	東京海上COM、東京海上日動、ボランティアサロン (3回)
神戸市	0枚		
香川県	168,040枚	2018年8月	ボランティアサロン
佐賀県	145,080枚	2018年8月	東京海上HRA、ボランティアサロン
熊本県	316,100枚	2018年2月～3月	東京海上日動、ボランティアサロン (2回)
沖縄県	296,800枚	2018年8月	三和ホールディングス、ボランティアサロン (2回)
計	2,081,060枚		

(3) 企業との協働

カードの発送作業は、ご支援をいただいている企業様との協働により実施しています。社内の会議室等をお借りし、昼休みや終業後などに社員の皆様にボランティア活動としてご参加いただいています。準備段階から社会貢献担当部署の方が窓口になってくださり、社員の皆様へのご案内や会場のご手配など、様々な形でのご協力をいただいいます。当日は作業とあわせてチャイルドラインの紹介、活動の状況や子どもの状況、聴くこと、寄り添うことの大切さをお伝えしています。

(4) ボランティアサロンの開催

チャイルドライン支援センターにおいて「ボランティアサロン」を開催しています。カードの発送作業をしながらチャイルドライン活動への理解促進をしています。

子どもの声を社会に届ける

チャイルドライン支援議員連盟との連携

総会 : 2018 年 12 月 7 日

出席者 : 会長　河村建夫　副会長　高橋千鶴子　幹事長　馳浩　事務局長　泉健太 ほか
内閣府　厚生労働省　文部科学省のご担当者

チャイルドライン支援議員連盟総会が開催され、日本におけるチャイルドライン活動が 20 年を迎え、蓄積してきた子どものデータはとても貴重なものであり、今後の政策に有効に活用していくよう馳浩幹事長より出席者への呼びかけがされました。

要望書の提出 : 2019 年 3 月 19 日

「児童虐待の防止等に関する法律」の改正に向け、子どもの生きやすい社会実現のために、チャイルドラインとして法制化への要望書を提出しました

●親権者だけでなく何人も子どもに暴力 (体罰だけでなく、言葉によるもの、態度によるもの、面前 DV を含む) を与えてはならない
●子どもの側に立ち、必要な支援につなげる「アドボケイト制度」がすべての子どもに保障されること
●子どもやおとなに向け子どもの意見表明権をふくむ「子どもの権利」を軸とした人権教育が行われること

支援議員 (敬称略)

(2019 年7月 23 日現在)

名前	政党	衆参	選挙区
安藤　高夫	自民	衆	比例東京
伊東　良孝	自民	衆	北海道 7 区
今井　絵理子	自民	参	比例
上野　通子	自民	参	栃木
衛藤　征士郎	自民	衆	大分 2 区
江渡　聡徳	自民	衆	比例東北
遠藤　利明	自民	衆	山形 1 区
大岡　敏孝	自民	衆	滋賀 1 区
上川　陽子	自民	衆	静岡 1 区
河村　建夫	自民	衆	山口 3 区
岸田　文雄	自民	衆	広島 1 区
北村　誠吾	自民	衆	長崎 4 区
工藤　彰三	自民	衆	愛知 4 区
後藤田　正純	自民	衆	徳島 1 区
坂本　哲志	自民	衆	熊本 3 区
佐々木　紀	自民	衆	石川 2 区
左藤　章	自民	衆	大阪 2 区
菅原　一秀	自民	衆	東京 9 区
薗浦　健太郎	自民	衆	千葉 5 区
そのだ　修光	自民	参	比例
武部　新	自民	衆	北海道 12 区
冨岡　勉	自民	衆	比例九州
永岡　桂子	自民	衆	比例北関東
中川　雅治	自民	参	東京
野田　聖子	自民	衆	岐阜 1 区
馳　浩	自民	衆	石川 1 区

名前	政党	衆参	選挙区
平井　たくや	自民	衆	香川 1 区
福山　守	自民	衆	比例四国
藤井　比早之	自民	衆	兵庫 4 区
船田　元	自民	衆	栃木 1 区
松下　新平	自民	参	宮崎
松野　博一	自民	衆	千葉 3 区
三ッ林　裕巳	自民	衆	埼玉 14 区
山口　泰明	自民	衆	埼玉 10 区
和田　義明	自民	衆	北海道 5 区
井上　義久	公明	衆	比例東北
浮島　智子	公明	衆	比例近畿
佐藤　英道	公明	衆	比例北海道
高木　美智代	公明	衆	比例東京
富田　茂之	公明	衆	比例南関東
古屋　範子	公明	衆	比例南関東
阿部　知子	立民	衆	神奈川 12 区
荒井　聰	立民	衆	北海道 3 区
枝野　幸男	立民	衆	埼玉 5 区
逢坂　誠二	立民	衆	北海道 8 区
大河原　雅子	立民	衆	比例北関東
岡本　あき子	立民	衆	比例東北
小川　敏夫	立民	参	東京
小西　洋之	立民	参	千葉
田嶋　要	立民	衆	比例南関東
中川　正春	立民	衆	三重 2 区
中谷　一馬	立民	衆	比例南関東

名前	政党	衆参	選挙区
初鹿　明博	立民	衆	比例東京
福山　哲郎	立民	参	京都
道下　大樹	立民	衆	北海道 1 区
森山　浩行	立民	衆	比例近畿
山川　百合子	立民	衆	比例北関東
山崎　誠	立民	衆	比例東北
伊藤　俊輔	立民	衆	比例東京
蓮　舫	立民	参	東京
日吉　雄太	国民	衆	比例東海
泉　健太	国民	衆	京都 3 区
大島　敦	国民	衆	埼玉 6 区
櫻井　充	国民	参	宮城
田名部　匡代	国民	参	青森
羽田　雄一郎	国民	参	長野
原口　一博	国民	衆	佐賀 1 区
増子　輝彦	国民	参	福島
渡辺　周	国民	衆	静岡 6 区
高橋　千鶴子	共産	衆	比例東北
田村　智子	共産	参	比例
畑野　君枝	共産	衆	比例南関東
宮本　岳志	共産	衆	比例近畿
柿沢　未途	社保	衆	比例東京
松原　仁	社保	衆	比例東京
山井　和則	無	衆	比例近畿

役員体制 (敬称略)

会　長
河村　建夫 (自民)

副会長
羽田雄一郎 (国民)
岸田　文雄 (自民)
高橋千鶴子 (共産)

事務局長
泉　健太 (国民)

事務局次長
小西　洋之 (無所属)

幹事長
馳　浩 (自民)

幹事長代理
浮島　智子 (公明)

幹　事
田嶋　要 (無所属)
後藤田正純 (自民)
阿部　知子 (立民)

アドヴォカシー事業

子どもの実態調査を実施しました

思春期の子どもの死因の第1位は自殺であり、ここ数年その数は変化していません。
いじめについては自己肯定感の低さ、
虐待については家庭環境の厳しさなどが要因として考えられています。
自殺、いじめ、虐待など子どもの生きにくさの背景として、
「貧困のストレスやトラウマに起因する精神的疾患を抱えていることや
自己肯定感の低さなどがあるのではないか」「経済的貧困だけでなく精神的な貧困
(愛されていない、だれからも必要とされていないと感じている、孤立しているなど)を
抱えているのではないか」という仮説の下、
自由記述を含めた29の問を設定し、子どもの実態調査を実施しました。
別途集積している、チャイルドラインの電話・チャット相談の背景にある
貧困についてのデータと併せ分析し、子どもたちの健全な育成に
必要な視点について考える根拠の一つとなることを目指しました。詳しくは報告書をご覧ください。

調査方法
アンケート方式による調査を実施。教育委員会を通じ、学校に調査依頼をしました。
北海道、福島県、栃木県、東京都、愛知県、大阪府、長崎県、大分県の各公立私立学校から
小学 5 年生 1,326 人、中学校 2 年生 1,647 人、高校 2 年生 1,631 人から回答が得られました。

今回の調査から、「経済的貧困」や「社会性・関係性の貧困」が子どもたちの自己肯定感の育成や健全な成長に影響を与えること、また社会からの受容感や社会に対する安心感・信頼感が大切であることがわかりました。そして「自信や夢を持って成長していける」環境も子どもたちが困難を乗り越える一助になることも考察できました。

調査の結果考えられる必要な子どもへの支援

- **家族が子どもと会話できる環境づくり**(家族が余裕をもって子どもに関わるための家族支援の充実)
- **子どもが「誰かから大切にされている」という実感を持てるような関わり**
- **子どもが「自信を持てる」「夢を持てる」環境づくり**
- **子どもが「ホッとできる」居場所を整えること**
- **家族や友だち以外の「子どもたちが安心して話せる人の充実」**(相談内容のプライバシーが守られる相談機関の充実)

上記は SDGs で掲げられる「持続可能な、だれ一人取り残さない社会」の実現やチャイルドラインの使命である「子どもたちが生きやすい社会の実現」に必要で大切な要素だと再認識しました。

助成：子供の未来応援国民運動

パブリシティ

テレビ

局、番組	日付	タイトル、見出し等
TBS NEWS23	2 月 6 日	とどかないSOS「心の内を話せない」子どもたち
フジテレビ プライムニュース	8 月 28 日	夏休み明けの自殺を防ぐ！“学校に行く”は「絶対」じゃない ―プライムニュースイブニング 子どもの命を守るために―
NHK 朝イチ	8 月 30 日	精神疾患の親がいる子　家族だけで抱え込まない！
NHK NEWS WEB	9 月 2 日	夏休み明け1人で悩まずSNSなどで相談を

新聞、ネットニュース

媒体名	日付	タイトル、見出し等
読売新聞　yomiDr. _ ヨミドクター	7 月 23 日	夏休みの自殺を防ぐ…LINEに相談窓口、「SOSの出し方」特別授業も
朝日新聞	8 月 2 日	天声人語
朝日新聞	8 月 5 日	社説　子どもの悩み　夏の間に受けとめて
朝日新聞　withnews（ウィズニュース）	8 月 13 日	あなたの悩み聴かせてください　SNS 相談「中の人」ってどんな人？
朝日新聞	8 月 19 日	学校に行くのが、つらい時は
朝日新聞デジタル	8 月 19 日	学校がつらい君へ　「頑張って家を出るな」著名人の言葉
ニコニコニュース	8 月 19 日	オトナンサー　“子どもの自殺”ピークを前に、NPO が電話相談などを強化 専門家「気持ちに寄り添って」
教育新聞 電子版	8 月 20 日	「不安を優しく受け止め」チャイルドラインを拡充
Yahoo! ニュース	8 月 24 日	子どもの自殺ピークは8月下旬、保護者ができる対策は
朝日小学生新聞	8 月 24 日	夏休み明け、学校に行くのがつらいあなたへ　力になるよ、相談してね
Yahoo! ニュース	9 月 1 日	夏休み明けの自殺防ごう＝電話やネットで相談窓口―居場所提供も・NPO など
Yahoo! ニュース BuzzFeed Japan	9 月 2 日	あした、学校に行きたくないあなたへ。中川翔子、田村淳… 届けたい言葉がある
yahoo	9 月 2 日	夏休み明けに苦しさを感じる子どもの「SOS」を 見逃さないために周囲ができること
livedoor ニュース	9 月 2 日	いじめ問題の専門家が考える　いじめ解決のポイントは？
Buzzfeed News	9 月 10 日	あなたは一人じゃない　いのちをつなぐための相談窓口があります 9 月 10 日から自殺予防週間です
ニフティニュース	10 月 13 日	自殺未遂：教諭に手紙も対応なし　母親、学校不信強く
不登校新聞	12 月 1 日	チャイルドライン 17 年度報告”話を聴いてほしい”7 割越え 通話以外のツール導入へ
Yahoo! ニュース	1 月 24 日	堤幸彦監督の新作映画が厚生労働省とタッグ ポスターで「若者の自殺防止」周知へ
Yahoo! ニュース	2 月 19 日	「もしかしてこの子、虐待されてる？」と思ったら
ニフティニュース	3 月 9 日	群馬の高 2 女子自殺　1 年時からいじめか	
Yahoo! ニュース	3 月 13 日	福井中 2 自殺から 2 年　生徒の母親、手記で再発防止訴え「自分を責め続ける毎日」
Yahoo! ニュース	3 月 13 日	豊田市教委「いじめ確認できていない　原因を慎重に調査」　女児 2 人死亡
デジタル毎日新聞	3 月 26 日	教諭が生徒をバリカンで丸刈り　「ぼけ」暴言も　山口・下松の県立高
Yahoo! ニュース	3 月 27 日	いじめを半年以上放置　広島・呉の中3下着脱がされ精神疾患
デジタル毎日新聞	3 月 27 日	「いじめ認定、自殺原因の可能性」　熊本・高 3 自殺で最終報告

雑誌、書籍、刊行物、資料

警察庁リーフレット		「あなたは悪くない」「あなたは気づいていないかも！？」 相談窓口情報掲載
小学館クリエイティブ書籍		小学生のミカタ・自分を守る「身近な危険」 相談窓口情報掲載
AERA 記事	9 月 10 日	自殺・不登校が増える新学期問題　「あなたが大事」と伝えて
くらしの手帳		相談窓口情報掲載
学研こどもみらい教科書	1 月 31 日	チャイルドライン支援センター・ホームページのキャプチャ画像使用

チャイルドライン　実施団体の活動状況

チャイルドラインの運営体制

チャイルドラインの電話・チャットは全国 68 ヶ所の活動拠点で実施されています。
それぞれの実施団体が、ボランティア養成講座、継続的な研修を実施し、子どもへの広報活動も担い、
それぞれが地域において子どもが生きやすい社会の実現をめざし活動しています。

実施団体の活動状況

ボランティア数

ボランティアは 1,929 名

2019 年 3 月末時点で子どもの話を聴く「受け手」は 1,796 名、受け手のケアを担う「支え手」は 522 名(うち「受け手」との兼任 409 名）で相談活動に携わるボランティアの数は 1,929 名です。内訳では女性が 81%、男性が 17%、年齢は 40 代～ 50 代が 55.7% となっています。

子どもへの広報

日本全国の子どもに届けたカードは 1100 万枚

チャイルドラインでは、「すべての子どもがチャイルドラインを知っている状態をめざし、全国各地で広報に取り組んでいます。全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学級などの在学者役 1325 万人を対象に 1100 万枚のカードを配布しました。配布にあたっては、全国の教育委員会、学校等にご協力をいただいています。

都道府県	カード配布枚数	子ども人口	カード枚数／子ども人口比	2017 年度発信数	人口あたりの発信数
北海道	576,460 枚	510,719 名	113%	16,984 件	3.3%
青森県	21,607 枚	130,624 名	17%	3,264 件	2.5%
岩手県	141,500 枚	129,781 名	109%	12,141 件	9.4%
宮城県	195,000 枚	242,783 名	80%	8,003 件	3.3%
秋田県	50,000 枚	93,732 名	53%	1,874 件	2.0%
山形県	186,840 枚	115,762 名	161%	4,621 件	4.0%
福島県	225,000 枚	197,713 名	114%	4,534 件	2.3%
茨城県	448,560 枚	314,230 名	143%	5,282 件	1.7%
栃木県	227,000 枚	213,373 名	106%	4,412 件	2.1%
群馬県	203,000 枚	213,296 名	95%	5,580 件	2.6%
埼玉県	910,000 枚	749,315 名	121%	27,637 件	3.7%
千葉県	183,000 枚	636,854 名	28%	14,576 件	2.3%
東京都	790,974 枚	1,247,475 名	63%	57,895 件	4.6%
神奈川県	1,100,000 枚	912,418 名	120%	30,653 件	3.4%
新潟県	124,017 枚	232,389 名	53%	3,290 件	1.4%
富山県	46,000 枚	110,417 名	41%	9,292 件	8.4%
石川県	150,000 枚	124,958 名	120%	6,611 件	5.3%
福井県	57,000 枚	88,211 名	64%	6,093 件	6.9%
山梨県	100,500 枚	90,439 名	111%	4,879 件	5.4%
長野県	996,500 枚	229,657 名	433%	4,784 件	2.1%
岐阜県	230,000 枚	225,467 名	102%	6,316 件	2.8%
静岡県	630,500 枚	400,087 名	157%	7,925 件	2.0%
愛知県	850,000 枚	833,348 名	101%	67,272 件	8.1%
三重県	680,000 枚	196,908 名	345%	2,643 件	1.3%

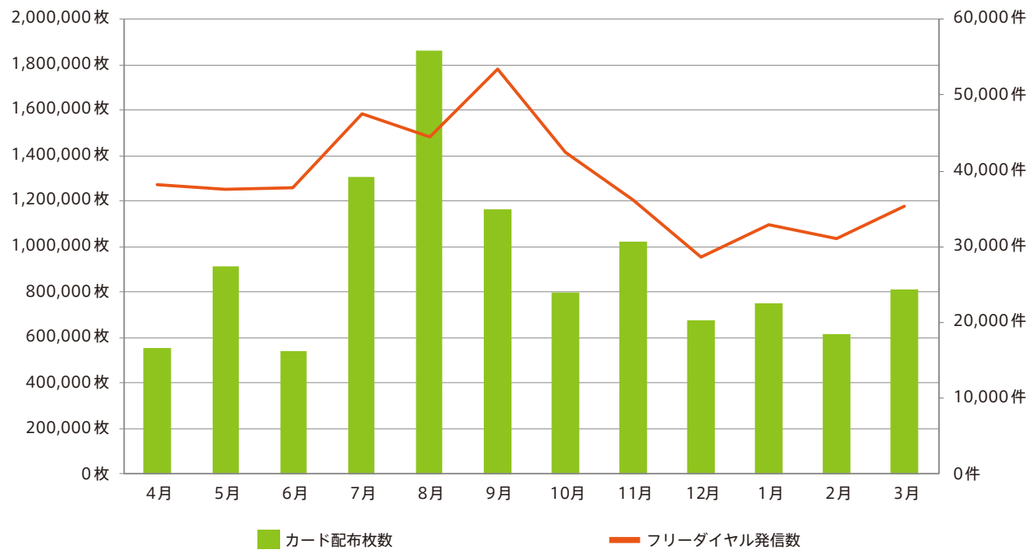
都道府県	カード配布枚数	子ども人口	カード枚数／子ども人口比	2017 年度発信数	人口あたりの発信数
滋賀県	27,500 枚	166,333 名	17%	7,615 件	4.6%
京都府	14,320 枚	271,715 名	5%	5,411 件	2.0%
大阪府	221,171 枚	916,347 名	24%	35,600 件	3.9%
兵庫県	519,640 枚	591,082 名	88%	15,921 件	2.7%
奈良県	50,000 枚	147,032 名	34%	2,092 件	1.4%
和歌山県	2,000 枚	101,150 名	2%	6,831 件	6.8%
鳥取県	60,000 枚	60,994 名	98%	3,175 件	5.2%
島根県	168,270 枚	72,988 名	231%	1,488 件	2.0%
岡山県	92,000 枚	211,812 名	43%	5,000 件	2.4%
広島県	440,000 枚	305,291 名	144%	9,921 件	3.2%
山口県	137,200 枚	141,321 名	97%	1,190 件	0.8%
徳島県	82,000 枚	75,494 名	109%	1,381 件	1.8%
香川県	168,040 枚	106,371 名	158%	1,639 件	1.5%
愛媛県	120,000 枚	144,410 名	83%	827 件	0.6%
高知県	100,300 枚	72,052 名	139%	2,909 件	4.0%
福岡県	310,000 枚	553,952 名	56%	12,642 件	2.3%
佐賀県	145,080 枚	97,839 名	148%	2,466 件	2.5%
長崎県	63,400 枚	149,365 名	42%	3,709 件	2.5%
熊本県	316,100 枚	197,055 名	160%	15,766 件	8.0%
大分県	267,934 枚	123,619 名	217%	3,571 件	2.9%
宮崎県	140,000 枚	125,454 名	112%	1,889 件	1.5%
鹿児島県	0 枚	185,662 名	0%	3,395 件	1.8%
沖縄県	296,800 枚	198,119 名	150%	4,459 件	2.3%
合計	11,614,163 枚	13,255,413 名	88%	465,458 件	3.5%

※ 13,259,171 名のうち、都道府県別データのない国立、私立特別支援学校の 3,758 名を除く

月別カード配布枚数と電話の発信数

夏休み明けの子どものつらい時期に子どもたちに広報が行き届くよう、夏休み前の 7 月にカード配布枚数が最多の 275 万枚となり、8 月と合わせて 375 万枚が配布されました。
子どもからの発信は 9 月が一番多く 53,513 件でした。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均
カード配布枚数	556,950 枚	916,100 枚	540,966 枚	1,306,509 枚	1,861,940 枚	1,162,746 枚	802,175 枚	1,025,587 枚	678,340 枚	750,444 枚	616,860 枚	814,810 枚	11,033,427 枚	919,452 枚
フリーダイヤル発信数	38,169 件	37,493 件	37,716 件	47,569 件	44,393 件	53,513 件	42,415 件	36,068 件	28,730 件	32,972 件	31,047 件	35,373 件	465,458 件	38,788 件



活動資金

全国の年間支出額は約 1 億円

全国の 68 の実施団体の支出総額は、1 億円を超え、チャイルドライン支援センターとあわせると約 1 億 7 千万円以上となりました。

ボランティアが受け手や支え手等の担い手として活動していますが、拠点や電話設置費用、子どもへの広報活動、社会発信費用などは日本中の多くの個人、企業、団体、行政の皆様のご支援によって支えていただいています。

支出額	団体数	比率
1000 万円以上	1	1%
500 ～ 999 万円	2	3%
250 ～ 499 万円	8	12%
100 ～ 249 万円	20	29%
50 ～ 99 万円	15	22%
50 万円未満	22	32%
回答なし	1 団体	1.4%

チャイルドライン　実施団体の活動状況

チャイルドライン実施団体一覧

2019年6月1日現在　39都道府県68団体　開設準備1団体　チャイルドラインしょうない(庄内)(山形県)

●北海道札幌市
チャイルドラインほっかいどう
認定 NPO 法人チャイルドラインほっかいどう
011-272-3755

●青森県青森市
チャイルドラインあおもり
050-5437-7790

●岩手県盛岡市
チャイルドラインいわて
090-9748-7557

●宮城県仙台市
チャイルドラインみやぎ
NPO 法人チャイルドラインみやぎ
022-279-7210

●秋田県秋田市
チャイルドラインあきた
NPO 法人あきた子どもネット
070-5327-1386

●福島県福島市
チャイルドラインふくしま
024-563-4191

●郡山市
チャイルドラインこおりやま
024-942-4036

●栃木県宇都宮市
チャイルドラインとちぎ
認定 NPO 法人チャイルドラインとちぎ
028-614-3253

●群馬県前橋市
チャイルドラインぐんま
027-289-4365

●埼玉県朝霞市
さいたまチャイルドライン
認定 NPO 法人さいたまチャイルドライン
048-486-7171

●千葉県千葉市
チャイルドライン千葉
NPO 法人子ども劇場千葉県センター
043-301-7262

●東京都港区
みなとチャイルドライン
090-7284-0378

●江東区
とうきょうかわのてチャイルドライン
NPO 法人こうとう親子センター
03-3632-1717

●品川区
しながわチャイルドライン
NPO 法人しながわチャイルドライン
03-5462-2868

●目黒区
めぐろチャイルドライン
NPO 法人めぐろチャイルドライン
03-3710-0486

●世田谷区
せたがやチャイルドライン
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
03-5712-5101

●中野区
チャイルドライン 中野子ども電話
080-3919-0489

●杉並区
チャイルドラインすぎなみ
090-6012-3903

●八王子市
チャイルドライン八王子・子どものでんわ★21
NPO 法人子どもネット "八王子"
042-625-6909

●八王子市
八王子チャイルドライン「コッコロ」
NPO 法人八王子チャイルドライン
090-4417-3355

●立川市
チャイルドラインたちかわ
070-5456-8262

●武蔵野市
チャイルドラインむさしの
NPO 法人チャイルドラインむさしの
080-5679-5100

●狛江市
こまえチャイルドライン
03-3489-4583

●神奈川県横浜市
よこはまチャイルドライン
NPO 法人よこはまチャイルドライン
045-342-0255

●川崎市
かわさきチャイルドライン
080-6756-7763

●新潟県新潟市
チャイルドラインにいがた
025-224-5555

●富山県富山市
とやまチャイルドライン
とやまチャイルドライン愛ランド
090-3764-3666

●石川県金沢市
チャイルドライン・いしかわ
子ども夢フォーラム
076-214-5680

●福井県福井市
ふくいチャイルドライン
認定 NPO 法人福井県子ども NPO センター
0776-97-8460

●山梨県韮崎市
チャイルドラインやまなし
0551-23-5145

●長野県長野市
チャイルドラインながの
NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
090-9667-0874

●上田市
チャイルドラインうえだ
チャイルドラインうえだ運営委員会
090-3565-7086

●諏訪市
チャイルドラインすわ
NPO 法人すわ子ども文化ステーション
0266-58-3494

●佐久市
チャイルドライン佐久
NPO 法人チャイルドライン佐久
070-4189-0155

●岐阜県岐阜市
チャイルドラインぎふ
NPO 法人チャイルドラインぎふ
080-1550-6050

●静岡県焼津市
しずおかチャイルドライン
NPO 法人静岡家庭教育サポート協会
054-631-6762

●浜松市
はままつチャイルドライン
053-448-6129

●大阪府大阪市
チャイルドライン OSAKA
公益社団法人子ども情報研究センター
06-4708-7087

●吹田市
チャイルドラインすいた
こらぼれチップス
06-6382-0290

●富田林市
チャイルドラインとんだばやし
一般社団法人富田林市人権教育・啓発推進センター
0721-20-0285

●和泉市
チャイルドラインいずみ
いずみこども AID
090-6730-9653

●東大阪市
チャイルドラインひがしおおさか
childline.h@gmail.com

●阪南市
チャイルドラインはらっぱ
NPO 法人子ども NPO はらっぱ
072-471-2276

●和歌山県和歌山市
チャイルドラインわかやま
NPO 法人子ども NPO 和歌山県センター
073-432-3664

●鳥取県倉吉市
チャイルドラインうさぎのみみ
090-6432-2967

●島根県松江市
チャイルドラインしまね
NPO 法人チャイルドラインしまね
0852-24-9318

●岡山県岡山市
チャイルドラインおかやま
NPO 法人チャイルドラインおかやま
086-233-1731

●笠岡市
チャイルドラインかさおか
認定 NPO 法人ハーモニーネット未来
0865-63-4955

●愛知県名古屋市
チャイルドラインあいち
NPO 法人チャイルドラインあいち
052-822-2801

●安城市
チャイルドラインみかわ
NPO 法人おやこでのびっこ安城
0566-77-7085

●三重県津市
チャイルドライン MIE
NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE
ネットワーク
059-211-0024

●滋賀県大津市
しがチャイルドライン
NPO 法人 CASN
077-537-5922

●京都府京都市
チャイルドライン京都
NPO 法人チャイルドライン京都
075-585-3038

●広島県広島市
ひろしまチャイルドライン
認定 NPO 法人ひろしまチャイルドライン
子どもステーション
082-233-8655

●福山市
チャイルドラインびんご
子どもサポネット「ハートフル」
090-8712-1803

●山口県宇部市
チャイルドラインやまぐち
NPO 法人子ども劇場山口県センター
0836-32-4287

●岩国市
チャイルドライン岩国ステーション
080-1636-1135

●下関市
チャイルドラインしものせき
083-256-6888

●徳島県徳島市
とくしまチャイルドライン
0884-28-0559

●愛媛県松山市
チャイルドライン　ハートコール・えひめ
子ども電話「ひびき」
089-923-9558

●高知県高知市
チャイルドラインこうち
090-2788-9977

●福岡県北九州市
チャイルドライン北九州
NPO 法人チャイルドライン北九州
090-7924-5036

●福岡市
チャイルドライン「もしもしキモチ」
認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」
092-734-1540

●長崎県長崎市
チャイルドライン・ながさき
NPO 法人チャイルドラインながさき
095-801-5521

●佐世保市
チャイルドラインさせぼ
0956-24-0214

●大分県大分市
チャイルドラインおおいた
090-3322-3699

●宮崎県宮崎市
チャイルドラインみやざき
NPO 法人チャイルドラインみやざき
0985-41-8228

●鹿児島県鹿児島市
チャイルドラインかごしま
090-2749-5523

運営体制

チャイルドライン支援センター 運営状況

会員数（2019 年 3 月 31 日現在）

正会員：個人 37 名　団体 71 名　　支援会員：個人 22 名団　団体 1 名

組織体制

2019 年度　役員

■代表理事

松江 比佐子　認定 NPO 法人チャイルドラインとちぎ理事長

梅澤 元彦　株式会社ムーンファクトリー代表取締役社長
NPO 法人キープ・ママ・スマイリング　理事

■専務理事

高橋 弘恵　NPO 法人チャイルドラインあいち専務理事

■常務理事（チャイルドライン事業）

関戸 真紀　いずみこども AID 代表

■常務理事（アドヴォカシー事業）

中村 尊　NPO 法人フリースクール　全国ネットワーク理事
チャイルドライン・ながさき　共同代表

■理事

青木 高　公益社団法人日本フィランソロピー協会　事務局長

金子 由美子　NPO 法人さいたまユースサポートネット　副代表

佐藤 香代　弁護士／東京弁護士会子どもの権利委員会委員

田野 浩美　せたがやチャイルドライン運営委員長

水口 良子　認定 NPO 法人チャイルドラインほっかいどう常務理事

■監事

児玉 勇二　弁護士

武 千晴　社会福祉士、精神保健福祉士、博士（教育学）
日本女子大学学術研究員

◎アドバイザー（敬称略）

清川 輝基　NPO 法人子どもとメディア代表理事

内海 裕美　吉村小児科院長／公益社団法人日本小児科医会常任理事
「子どもの心」対策部担当

喜多 明人　早稲田大学教授
NPO 法人子どもの権利条約総合研究所顧問

坪井 節子　弁護士／社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長

田中 哲　精神科専門医

村上 敏也　金沢工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科 教授 博士（経営学）

活動計算書（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）

経常収益

受取会費		2,070,000
受取寄附金		13,642,424
受取助成金		8,113,356
受取補助金		36,950,000
事業収益	（参加費用）	526,500
	（資料代）	4,202,005
	（協賛金）	1,304,055
その他		3,228
経常収益計		66,811,568

経常費用

チャイルドライン事業	（人件費）	3,710,252
	（全国統一フリーダイヤル）	21,324,335
	（オンライン相談の試行）	10,078,518
	（アウトリーチプログラム）	253,167
	（全国フォーラム）	3,234,434
	（ガイドライン刷新）	1,091,910
	（ネット回線電話導入検討）	3,215,680
	（事業運営費）	1,729,611
アドヴォカシー事業	（人件費）	5,345,112
	（子ども広報）	3,336,031
	（空白県広報）	2,831,555
	（子ども実態調査）	1,631,294
	（社会発信）	1,421,862
	（災害支援）	216,000
	（事業運営費）	2,140,746
管理費	（人件費）	3,482,050
	（その他管理費）	2,023,331
経常費用計		67,065,888
経常収支差額		(254,320)

ご支援・ご協力一覧

多くの方々からのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

（敬称略、順不同）　※法人、団体の皆様のみ掲載

●寄付・協賛

日本電信電話株式会社
公益財団法人資生堂社会福祉事業財団
宗教法人 真如苑
一般財団法人 全国学生保障援助会
株式会社 NTT ドコモ
株式会社ラングランズ
MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ
株式会社佐藤建設
東京海上 Share Happiness 倶楽部
株式会社ディ・エフ・エフ
株式会社 NHK 出版
ソフトバンク株式会社
ＫＤＤＩ株式会社
リンベル株式会社
三和グループ社会貢献倶楽部
シクミオ株式会社
株式会社オプテージ（旧株式会社ケイ・オプティコム）
富士ゼロックスシステムサービスボランティア基金
一般社団法人ほのぼの運動協議会
富士ゼロックスシステムサービス株式会社
東京海上ビジネスサポート株式会社
若松測量設計株式会社
チャイルドライン支援議員連盟
429　DOVE チャリティーライヴ
ティツィアーナ・ドゥカーティ後援会
株式会社 KIREIproduce
東京海上火災保険株式会社1９７８入社４０周年同期会 有志
津田沼こどもクリニック
まえはら小児科
東京海上日動火災保険株式会社
富士吉田支社
有限会社 川本商店
横浜雙葉学園同窓会 レジナ会

●寄付・協賛「チャイルドライン 20 周年全国フォーラム in 九州」

特定非営利活動法人 nest
やすひウイメンズクリニック
吉田總業株式会社
株式会社童話館
特定非営利活動法人子どもの人権アクション長崎（あじじの会）
特定非営利活動法人ミーサ・インフォメーション・Net
国際ソロプチミスト長崎ガーランド
大分縁不動産株式会社
株式会社松翁軒
医療法人健笑会しもむらクリニック
医療法人まるふく会 福田こどもクリニック
医療法人松田歯科クリニック
医療法人社団二樹会 村山医院
学校法人鎮西学院 長崎ウエスレヤン大学
株式会社四海楼
医療法人光晴会病院
そうだレディースクリニック
有限会社フュー
テイッイアーナ・ドゥカーティ後援会
メットライフ生命生命保険株式会社
株式会社九州ガスホールディングス
株式会社ドラゴン
特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター（チャイルドライン千葉）
オフィスひらい
ころころクリニック
子どもと保育研究所ぶろぼ
みさかえの園 あゆみの家
優希シンシアティ株式会社
出島診療所
株式会社ムーンファクトリー
アトリエ松江
チャイルドラインかごしま
特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ
特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

●補助

厚生労働省「自殺防止対策事業」

●助成

公益財団法人 JKA「競輪補助事業」
日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」
「子供の未来応援基金」（子どもの実態調査）
2018 年度日本郵便年賀寄附金
（チャイルドライン 20 周年全国フォーラム in 九州）

●後援「2018 チャイルドライン全国キャンペーン」

内閣府
文部科学省、厚生労働省、総務省
チャイルドライン支援議員連盟、社会福祉法人全国社会福祉協議会
公益社団法人日本小児科医会、公益社団法人日本医師会

●後援「チャイルドライン 20 周年全国フォーラム in 九州」

内閣府、文部科学省、厚生労働省、公益社団法人日本小児科医会
チャイルドライン支援議員連
福岡市、福岡市教育委員会、北九州市、北九州教育委員会

●協力

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社 博報堂
株式会社ピーアンドピービューロゥ、株式会社三門印刷所
株式会社チャモ、株式会社 プランニング・ヴィ
イノウデザイン株式会社、有限会社トランスプロジェクト、有限会社考学舎
有限会社萌文社、ツナガルラボ、ポプラ社

公益社団法人日本小児科医会、一般財団法人児童健全育成推進財団
佐藤経営税務会計事務所、雨宮国際特許事務所、お茶の水女子大学

［空白県広報］

山形県教育委員会、茨城県教育委員会、兵庫県教育委員会
佐賀県教育委員会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会
沖縄県教育委員会
東京海上日動火災保険株式会社
（東京海上 Share Happiness 倶楽部）社員のみなさま
東京海上アセットマネジメント株式会社　社員の皆様
東京海上ビジネスサポート株式会社　社員の皆様
三和グループホールディングス株式会社
（三和グループ社会貢献倶楽部）　社員の皆様

［子どもへの実態調査］

札幌市立北白石小学校、札幌市立宮の森小学校、私立作新学院、和泉市立横山小学校、和泉市立信太小学校、宇都宮市立石井小学校、宇都宮市立富士見小学校、品川区立日野学園、品川区立豊葉の杜学園、江東区立第一大島小学校、名古屋市立大清水小学校、大分県立高田小学校、大分県立白岡小学校、大分県立三佐小学校、対馬市立西小学校、長崎市立山里小学校、宇都宮市立陽西中学校、札幌市立元町中学校、江東区立大島西中学校、名古屋市立東陵中学校、伊達市立伊達中学校、郡山市立行健中学校、大分市立城東中学校、対馬市立西部中学校、長崎市立滑石中学校、栃木県立宇都宮北高校、札幌市立啓北商業高校、愛知県立緑高校、福島県立北高校、大分県立鶴崎高校、長崎県立上対馬高校、長崎県立北陽台高校

［全国フォーラム in 九州］

木原雅子、今井伸、二川正文、重永侑紀、山下雅彦
神田みゆき、廣畑輝臣、楠凡之、黒田加奈子、山田健二
SOS 子どもの村福岡
学校法人きのくに子どもの村学園

［Special Thanks］青木沙織
Child Helpline International

統計　データ

0120-99-7777　利用状況

2018 年 4 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日
NTT コミュニケーションズのトラヒックデータ調査ツールにより取得した交換機上の通信データ
※印はチャイルドライン支援センター調べ

1日平均は、休止期間12月29日～1月3日を除く359日で算出

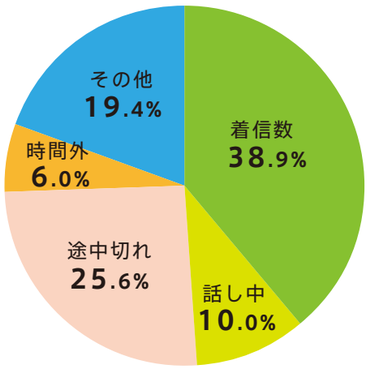
項目	2018 年度	2018 年度【1 日平均】	2017 年度	前年比	
発信数	478,538 件	1,333 件	465,458 件	13,080 件	102.8%
着信数	186,363 件	519 件	198,434 件	-12,071 件	93.9%
着信率	38.9%		42.6%	-3.7%	91.3%
かけた人数（のべ）	230,627 人	642 人	243,270 人	-12,643 人	94.8%
つながった率	80.8%		81.6%	-0.8%	99.1%
平均通話時間	5 分 39 秒		5 分 5 秒	+35 秒	111.1%
10 分以上の通話	32,777 件	91 件	31,567 件	1,210 件	103.8%
着信数比	17.6%		15.9%	1.7%	110.6%
総通話時間	17,574 時間	49 時間	16,835 時間	740 時間	104.4%
総実施時間※	38,750 時間	108 時間	39,428 時間	-678 時間	98.3%
稼働率※	45.4%		42.7%	2.7%	106.2%
時間着信数／回線	4.8 件		5.0 件	-0.2 件	95.6%

発信端末

発信端末	2018 年度	比率	2017 年度
固定電話	98,035 件	20.5%	20.3%
公衆電話	10,359 件	2.2%	3.0%
携帯電話	370,144 件	77.3%	76.7%
合計	478,538 件		

発信数の内訳

		2018 年	比率
着信		186,363 件	38.9%
不完了	話し中	47,911 件	10.0%
	途中切れ	122.568 件	25.6%
	時間外	28,937 件	6.0%
	その他	92,759 件	19.4%
発信数計		478,538 件	100.0%



発信数の内訳

曜日別　実施体制／利用状況

曜日	団体数	最大時回線数	総実施時間数	かけた人数	着信数	あきらめた人数	つながった率	平均通話	総通話時間	稼働率
月曜日	15 団体	28 回線	137 時間	727 人	620 件	109 人	85.3%	5 分 14 秒	54.1 時間	39.6%
火曜日	16 団体	24 回線	107 時間	603 人	460 件	143 人	76.2%	6 分 29 秒	49.7 時間	46.6%
水曜日	20 団体	31 回線	150 時間	779 人	668 件	112 人	85.7%	5 分 31 秒	61.4 時間	41.0%
木曜日	11 団体	17 回線	80 時間	591 人	430 件	158 人	72.8%	6 分 16 秒	45.0 時間	56.3%
金曜日	15 団体	25 回線	123 時間	735 人	636 件	99 人	86.5%	5 分 22 秒	56.9 時間	46.1%
土曜日	16 団体	23 回線	105 時間	688 人	582 件	107 人	84.1%	4 分 45 秒	46.1 時間	43.9%
日曜日	8 団体	10 回線	44 時間	306 人	185 件	121 人	60.5%	7 分 54 秒	24.4 時間	56.0%

都道府県別

都道府県名	発信数	着信数	平均通話	総通話分
北海道	12,653 件	5,097 件	6 分 59 秒	35,570 分
青森県	7,092 件	3,710 件	1 分 49 秒	6,757 分
秋田県	1,652 件	597 件	7 分 56 秒	4,738 分
岩手県	10,849 件	5,662 件	2 分 10 秒	12,297 分
宮城県	8,646 件	3,771 件	6 分 48 秒	25,667 分
山形県	6,750 件	2,707 件	9 分 32 秒	25,819 分
福島県	5,245 件	2,026 件	11 分 12 秒	22,699 分
新潟県	5,050 件	2,067 件	6 分 34 秒	13,569 分
長野県	4,651 件	1,654 件	10 分 3 秒	16,626 分
群馬県	4,024 件	1,874 件	5 分 4 秒	9,495 分
栃木県	4,274 件	1,241 件	5 分 45 秒	7,139 分
茨城県	10,010 件	3,593 件	4 分 37 秒	16,565 分
東京都	48,492 件	14,470 件	7 分 23 秒	106,825 分
神奈川県	30,519 件	10,818 件	9 分 10 秒	99,114 分
千葉県	14,782 件	5,660 件	6 分 13 秒	35,208 分
埼玉県	24,528 件	9,232 件	8 分 32 秒	78,745 分
山梨県	3,049 件	803 件	11 分 14 秒	9,014 分
愛知県	66,867 件	23,473 件	4 分 12 秒	98,476 分
静岡県	8,985 件	3,658 件	5 分 50 秒	21,354 分
岐阜県	7,120 件	3,036 件	7 分 30 秒	22,770 分
三重県	3,470 件	1,342 件	7 分 52 秒	10,548 分
富山県	13,843 件	6,227 件	2 分 49 秒	17,522 分
石川県	4,447 件	1,973 件	6 分 36 秒	13,028 分
福井県	7,829 件	3,007 件	7 分 14 秒	21,739 分

都道府県名	発信数	着信数	平均通話	総通話分
大阪府	33,987 件	12,557 件	5 分 33 秒	69,614 分
京都府	4,896 件	1,719 件	9 分 42 秒	16,675 分
滋賀県	6,997 件	2,601 件	7 分 55 秒	20,612 分
奈良県	1,174 件	390 件	12 分 55 秒	5,035 分
和歌山県	5,702 件	2,775 件	2 分 51 秒	7,921 分
兵庫県	22,785 件	8,151 件	4 分 14 秒	34,526 分
岡山県	7,539 件	3,861 件	3 分 34 秒	13,759 分
広島県	28,966 件	17,279 件	2 分 25 秒	41,787 分
島根県	2,884 件	1,206 件	6 分 44 秒	8,127 分
鳥取県	1,917 件	951 件	3 分 39 秒	3,469 分
山口県	1,297 件	595 件	8 分 45 秒	5,202 分
香川県	2,025 件	954 件	4 分 3 秒	3,867 分
徳島県	1,620 件	823 件	5 分 29 秒	4,507 分
高知県	2,325 件	1,109 件	5 分 58 秒	6,616 分
愛媛県	1,054 件	405 件	9 分 51 秒	3,987 分
福岡県	10,559 件	3,587 件	6 分 55 秒	24,805 分
佐賀県	2,880 件	982 件	5 分 12 秒	5,110 分
長崎県	3,710 件	1,072 件	9 分 14 秒	9,898 分
熊本県	9,127 件	3,857 件	3 分 21 秒	12,896 分
大分県	3,832 件	1,247 件	6 分 20 秒	7,895 分
宮崎県	2,395 件	632 件	8 分 3 秒	5,090 分
鹿児島県	1,911 件	671 件	6 分 24 秒	4,297 分
沖縄県	4,129 件	1,241 件	6 分 16 秒	7,773 分
合計	478,538 件	186,363 件	5 分 40 秒	1,058,116 分

電話の内容

（受け手が感じた子どもの状況を子どもが特定できないようデータベースに集積し分析したものです。）

着信の内訳（電話）

概況	着信数	比率
会話成立	55,185 件	29.6%
無言	94,182 件	50.9%
会話不成立	33,165 件	17.8%
大人	4,031 件	2.2%
合計	186,563 件	100.0%

着信の内訳（チャット）

概況（電話）	着信数	比率
会話成立	2,271 件	89.3%
無言	26 件	1.0%
会話不成立	243 件	9.6%
大人	4 件	0.2%
合計	2,544 件	100.0%

※全国 70 団体が集積した統計データ。「会話不成立」はいたずら電話やコミュニケーションが成立しないもの、性的な目的でかけてきたものを分類。「大人」には内容等から大人と推測されるものも含む。

会話成立（電話）※大人かもしれないを除く

■利用者の性別、年齢

年齢　性別比	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
未就学	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
小学校低学年	6.7%	4.1%	9.3%	8.1%
小学校高学年	12.2%	7.1%	17.5%	12.0%
中学生	21.3%	20.4%	22.3%	15.3%
中卒～ 18 歳	50.8%	57.7%	44.4%	19.7%
不明	8.9%	10.6%	6.2%	44.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

会話成立（チャット）※大人かもしれないを除く

■利用者の性別、年齢

年齢　性別比	全体 n=2,271	男子 n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
未就学	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学校低学年	1.0%	0.4%	1.0%	2.0%
小学校高学年	12.0%	9.3%	12.4%	10.0%
中学生	37.6%	34.1%	39.0%	21.0%
中卒～ 18 歳	45.9%	48.8%	45.8%	41.0%
不明	3.5%	7.3%	1.8%	26.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

＊2018 年 4 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日　NTT コミュニケーションズのトラヒックデータ調査ツールにより取得した交換機上の通信データ
※印はチャイルドライン支援センター調べ

統計　データ

■利用動機（電話）

性別

性別／動機	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
話を聴いてほしい	73.9%	72.4%	75.6%	61.7%
答えが欲しい	15.2%	15.3%	15.2%	16.4%
誰かとつながっていたい	5.2%	4.6%	5.6%	8.0%
お試し	3.4%	4.5%	2.0%	8.7%
社会資源情報を求める	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
実際に動いて欲しい	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
チャイルドラインについて	0.5%	0.5%	0.5%	0.2%
お礼	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
苦情	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%
なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.6%	2.4%	0.7%	4.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

全体／動機	未就学 n=95	小学校低学年 n=3,510	小学校高学年 n=6,392	中学生 n=11,168	中卒～18才 n=26,697	不明 n=4,686	合計 n=52,548
話を聴いてほしい	62.1%	69.2%	67.6%	74.3%	77.2%	65.6%	73.9%
答えが欲しい	15.8%	18.4%	19.1%	16.4%	14.1%	11.4%	15.2%
誰かとつながっていたい	8.4%	3.6%	5.3%	4.2%	5.0%	9.3%	5.2%
お試し	10.5%	6.8%	6.0%	3.2%	1.9%	6.0%	3.4%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	1.1%	0.8%	0.7%	0.4%	0.3%	0.9%	0.5%
その他	2.1%	0.9%	1.0%	1.1%	1.3%	6.6%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

男子

男子／動機	未就学 n=39	小学校低学年 n=1,082	小学校高学年 n=1,866	中学生 n=5,388	中卒～18才 n=15,278	不明 n=2,813	合計 n=26,466
話を聴いてほしい	61.5%	66.4%	61.7%	71.9%	75.8%	65.1%	72.4%
答えが欲しい	12.8%	19.0%	20.4%	16.7%	14.6%	11.1%	15.3%
誰かとつながっていたい	15.4%	3.2%	3.4%	4.2%	4.5%	7.7%	4.6%
お試し	7.7%	8.8%	11.7%	4.8%	2.8%	6.8%	4.5%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	1.2%	0.9%	0.4%	0.3%	0.8%	0.5%
その他	2.6%	1.0%	1.4%	1.7%	1.8%	8.5%	2.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

女子

女子／動機	未就学 n=54	小学校低学年 n=2,374	小学校高学年 n=4,446	中学生 n=5,678	中卒～18才 n=11,288	不明 n=1,577	合計 n=25,417
話を聴いてほしい	61.1%	70.6%	70.1%	76.9%	79.3%	68.4%	75.6%
答えが欲しい	18.5%	18.2%	18.7%	16.0%	13.3%	11.2%	15.2%
誰かとつながっていたい	3.7%	3.7%	5.9%	4.1%	5.8%	12.2%	5.6%
お試し	13.0%	5.8%	3.6%	1.6%	0.6%	3.7%	2.0%
社会資源情報を求める	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
チャイルドラインについて	1.9%	0.7%	0.7%	0.5%	0.2%	1.3%	0.5%
その他	1.9%	0.8%	0.8%	0.5%	0.5%	3.0%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■利用動機（チャット）

性別

性別／動機	全体 n=2,271	男子　n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
話を聴いてほしい	79.2%	74.4%	80.5%	67.0%
答えが欲しい	16.6%	19.5%	16.0%	20.0%
誰かとつながっていたい	2.1%	2.8%	1.7%	8.0%
お試し	0.4%	0.8%	0.4%	1.0%
社会資源情報を求める	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
実際に動いて欲しい	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
チャイルドラインについて	0.1%	0.4%	0.1%	1.0%
お礼	0.0%	0.0%	0.1%	1.0%
苦情	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%
なし	0.1%	0.4%	0.0%	1.0%
その他	1.5%	2.0%	1.3%	3.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

全体／動機	未就学 n=0	小学校低学年 n=22	小学校高学年 n=272	中学生 n=855	中卒～18才 n=1,043	不明 n=79	合計 n=2271
話を聴いてほしい	0.0%	86.4%	77.9%	79.6%	81.7%	63.3%	79.9%
答えが欲しい	0.0%	13.6%	19.1%	17.2%	15.1%	22.8%	16.6%
誰かとつながっていたい	0.0%	0.0%	1.5%	1.6%	2.1%	8.9%	2.1%
お試し	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%	1.3%	0.4%
社会資源情報を求める	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.3%	0.1%
その他	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.5%	2.5%	0.7%
合計	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

男子

男子／動機	未就学 n=0	小学校低学年 n=1	小学校高学年 n=23	中学生 n=84	中卒～18才 n=120	不明 n=18	合計 n=246
話を聴いてほしい	0.0%	100.0%	78.3%	71.4%	78.3%	61.1%	74.8%
答えが欲しい	0.0%	0.0%	21.7%	20.2%	18.3%	22.2%	19.5%
誰かとつながっていたい	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.5%	11.1%	2.8%
お試し	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.8%
社会資源情報を求める	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チャイルドラインについて	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	5.6%	1.6%
合計	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

女子

女子／動機	未就学 n=0	小学校低学年 n=19	小学校高学年 n=239	中学生 n=750	中卒～18才 n=882	不明 n=35	合計 n=1925
話を聴いてほしい	0.0%	84.2%	77.8%	80.8%	82.8%	65.7%	81.1%
答えが欲しい	0.0%	15.8%	18.8%	16.8%	14.3%	28.6%	16.1%
誰かとつながっていたい	0.0%	0.0%	1.7%	1.3%	1.8%	5.7%	1.7%
お試し	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	0.0%	0.4%
社会資源情報を求める	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
その他	0.0%	0.0%	1.3%	0.4%	0.6%	0.0%	0.6%
合計	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■関係性（電話）

性別

性別／関係性	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
友人・知人	19.8%	13.6%	26.2%	20.9%
恋人	3.1%	3.7%	2.6%	1.5%
先輩・後輩	1.3%	1.2%	1.3%	0.6%
同僚	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
実父	2.2%	1.6%	2.8%	3.3%
実母	8.1%	7.6%	8.7%	7.2%
養父	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%
養母	0.6%	1.0%	0.2%	0.0%
きょうだい	2.5%	3.3%	1.6%	2.1%
義理のきょうだい	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%
祖父	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
祖母	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%
先生	3.3%	3.0%	3.5%	4.7%
顧問・指導者	0.8%	1.0%	0.5%	0.3%
近所の人	0.3%	0.5%	0.2%	0.2%
施設職員	0.1%	0.1%	0.1%	0.5%
知らない人	0.8%	0.8%	0.8%	0.5%
自分自身のこと	50.7%	55.2%	46.1%	48.3%
その他	5.3%	6.2%	4.3%	9.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

年齢／関係性	未就学 n=95	小学校低学年 n=3,510	小学校高学年 n=6,392	中学生 n=11,168	中卒～18才 n=26,697	不明 n=4,686	合計 n=52,548
友人・知人	20.0%	38.2%	35.5%	21.8%	14.1%	11.8%	19.8%
恋人	1.1%	0.3%	0.6%	1.6%	4.8%	3.1%	3.1%
先輩・後輩	0.0%	0.8%	0.6%	2.1%	1.3%	0.5%	1.3%
同僚	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
実父	1.1%	1.4%	2.2%	2.6%	2.2%	1.6%	2.2%
実母	12.6%	7.0%	10.6%	7.3%	8.1%	7.4%	8.1%
養父	1.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%
養母	1.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.9%	0.4%	0.6%
きょうだい	5.3%	3.3%	2.2%	2.5%	2.5%	1.9%	2.5%
義理のきょうだい	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%	0.2%
祖父	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
祖母	1.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%
先生	2.1%	2.6%	4.4%	3.6%	3.1%	2.5%	3.3%
顧問・指導者	1.1%	0.1%	0.2%	1.2%	0.8%	0.4%	0.8%
近所の人	0.0%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%
施設職員	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
知らない人	1.1%	0.4%	0.5%	0.8%	0.8%	1.2%	0.8%
自分自身のこと	44.2%	40.4%	37.8%	50.8%	54.0%	57.4%	50.7%
その他	8.4%	4.5%	4.1%	4.1%	5.3%	10.5%	5.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■関係性（チャット）

性別

性別／関係性	全体 n=2,271	男子 n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
友人・知人	24.8%	17.9%	25.8%	23.0%
恋人	1.5%	2.0%	1.5%	0.0%
先輩・後輩	1.3%	3.3%	1.1%	1.0%
同僚	0.4%	0.8%	0.3%	1.0%
実父	3.2%	2.4%	3.3%	2.0%
実母	8.9%	2.0%	9.8%	10.0%
養父	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
養母	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%
きょうだい	0.9%	0.4%	1.0%	0.0%
義理のきょうだい	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%
祖父	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
祖母	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
先生	4.4%	6.9%	3.8%	9.0%
顧問・指導者	1.1%	0.0%	1.2%	1.0%
近所の人	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%
施設職員	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
知らない人	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
自分自身のこと	47.0%	56.1%	46.0%	45.0%
その他	5.1%	6.5%	4.8%	8.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

年齢／関係性	未就学 n=0	小学校低学年 n=22	小学校高学年 n=272	中学生 n=855	中卒～18才 n=1,043	不明 n=79	合計 n=2271
友人・知人	0.0%	50.0%	39.3%	27.5%	18.7%	19.0%	24.8%
恋人	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	1.8%	1.3%	1.5%
先輩・後輩	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.5%	0.0%	1.3%
同僚	0.0%	0.0%	0.4%	0.5%	0.2%	2.5%	0.4%
実父	0.0%	0.0%	3.7%	2.8%	3.5%	2.5%	3.2%
実母	0.0%	9.1%	9.2%	9.7%	8.3%	7.6%	8.9%
養父	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.0%	0.3%
養母	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%
きょうだい	0.0%	4.5%	1.5%	0.7%	1.0%	0.0%	0.9%
義理のきょうだい	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
祖父	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
先生	0.0%	0.0%	4.0%	5.0%	4.3%	1.3%	4.4%
顧問・指導者	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	1.1%
近所の人	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%	0.2%
施設職員	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%
知らない人	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.6%	0.0%	0.4%
自分自身のこと	0.0%	27.3%	35.3%	43.2%	53.3%	51.9%	47.0%
その他	0.0%	9.1%	4.8%	4.6%	4.9%	13.9%	5.1%
合計	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※会話成立 54,366 件の内訳。受け手ボランティアが会話の中で感じ取ったものをデータ化。
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計が 100% にならない場合があります。

統計　データ

■気持ち（電話）

性別

気持ち／性別	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
うれしい・たのしい	4.6%	4.3%	4.9%	4.5%
幸せ	0.4%	0.6%	0.3%	0.5%
楽しみ・期待	1.7%	1.7%	1.7%	1.2%
満足・充実感	0.6%	0.8%	0.5%	0.9%
怒り・いらだち	3.8%	3.6%	4.0%	1.8%
憂鬱	2.9%	2.4%	3.4%	2.1%
不安	14.4%	14.8%	14.0%	9.2%
イヤだ	10.3%	8.6%	12.0%	11.7%
疲れ	1.2%	0.9%	1.4%	0.5%
あきらめ	0.8%	0.6%	1.0%	0.5%
つらい・苦しい	9.9%	6.9%	13.1%	8.7%
悲しい	2.1%	0.9%	3.3%	2.3%
孤独・寂しさ	4.1%	3.0%	5.4%	5.0%
人目が気になる	1.3%	1.5%	1.2%	0.8%
自分に自信がない	2.7%	2.5%	2.9%	1.7%
恐怖・怖い	2.0%	1.4%	2.7%	2.7%
くやしい	1.4%	1.4%	1.4%	1.2%
困惑・困っている	13.6%	16.0%	11.0%	13.5%
葛藤・迷い・戸惑い	8.0%	9.7%	6.3%	4.5%
傷つきたくない	0.6%	0.4%	0.8%	0.3%
傷つけたくない	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
不明	7.4%	10.2%	4.3%	15.6%
その他	6.0%	7.6%	4.1%	10.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

全体 気持ち／年齢	未就学 n=95	小学校 低学年 n=3,510	小学校 高学年 n=6,392	中学生 n=11,168	中卒～18 才 n=26,697	不明 n=4,686	合計 n=52,548
うれしい・たのしい	20.0%	15.6%	6.8%	4.0%	2.9%	3.9%	4.6%
幸せ	0.0%	0.4%	0.2%	0.3%	0.6%	0.4%	0.4%
楽しみ・期待	4.2%	2.9%	2.3%	1.8%	1.5%	1.0%	1.7%
満足・充実感	0.0%	0.8%	0.8%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%
怒り・いらだち	1.1%	1.9%	3.7%	3.4%	4.1%	4.3%	3.8%
憂鬱	0.0%	1.7%	2.8%	2.7%	3.3%	2.3%	2.9%
不安	4.2%	7.0%	10.1%	16.0%	16.2%	11.7%	14.4%
イヤだ	11.6%	21.9%	17.8%	11.0%	7.1%	7.9%	10.3%
疲れ	0.0%	0.5%	0.6%	1.0%	1.5%	1.0%	1.2%
あきらめ	0.0%	0.3%	0.7%	0.7%	1.0%	0.6%	0.8%
つらい・苦しい	6.3%	3.6%	7.9%	11.1%	11.3%	7.0%	9.9%
悲しい	4.2%	4.6%	3.6%	2.2%	1.4%	1.4%	2.1%
孤独・寂しさ	3.2%	3.8%	5.7%	3.9%	3.8%	4.7%	4.1%
人目が気になる	1.1%	0.5%	0.8%	1.4%	1.7%	0.7%	1.3%
自分に自信がない	1.1%	0.9%	1.6%	2.5%	3.4%	1.7%	2.7%
恐怖・怖い	3.2%	2.8%	3.1%	2.4%	1.6%	1.6%	2.0%
くやしい	1.1%	1.4%	1.7%	1.6%	1.4%	0.7%	1.4%
困惑・困っている	15.8%	16.2%	14.8%	13.7%	13.3%	11.1%	13.6%
葛藤・迷い・戸惑い	2.1%	1.7%	4.3%	7.2%	10.5%	5.8%	8.0%
傷つきたくない	0.0%	0.3%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%
傷つけたくない	1.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
不明	8.4%	5.1%	5.0%	6.3%	6.5%	19.7%	7.4%
その他	11.6%	5.8%	4.7%	5.3%	5.6%	11.2%	6.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■気持ち（チャット）

性別

気持ち／性別	全体 n=2,271	男子 n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
うれしい・たのしい	0.4%	0.8%	0.3%	1.0%
幸せ	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
楽しみ・期待	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
満足・充実感	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%
怒り・いらだち	3.4%	4.9%	3.2%	5.0%
憂鬱	4.6%	4.9%	4.5%	6.0%
不安	15.7%	17.1%	15.6%	14.0%
イヤだ	11.6%	12.6%	11.6%	9.0%
疲れ	1.9%	0.4%	2.1%	2.0%
あきらめ	0.7%	0.4%	0.7%	3.0%
つらい・苦しい	24.4%	16.3%	25.8%	18.0%
悲しい	2.3%	2.4%	2.2%	4.0%
孤独・寂しさ	2.8%	1.2%	2.9%	5.0%
人目が気になる	1.2%	2.4%	1.0%	2.0%
自分に自信がない	4.4%	4.9%	4.4%	3.0%
恐怖・怖い	5.1%	3.7%	5.4%	3.0%
くやしい	0.7%	1.6%	0.6%	0.0%
困惑・困っている	8.4%	9.8%	8.2%	9.0%
葛藤・迷い・戸惑い	5.7%	5.3%	5.9%	3.0%
傷つきたくない	0.6%	0.4%	0.7%	0.0%
傷つけたくない	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
不明	2.6%	6.1%	1.9%	9.0%
その他	2.4%	4.1%	2.1%	4.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

全体 気持ち／年齢	未就学 n=0	小学校 低学年 n=22	小学校 高学年 n=272	中学生 n=855	中卒～18 才 n=1,043	不明 n=79	合計 n=2271
うれしい・たのしい	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.6%	1.3%	0.4%
幸せ	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
楽しみ・期待	0.0%	0.0%	1.1%	0.6%	0.1%	0.0%	0.4%
満足・充実感	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.3%	0.0%	0.2%
怒り・いらだち	0.0%	9.1%	2.6%	3.4%	3.3%	7.6%	3.4%
憂鬱	0.0%	0.0%	4.0%	4.9%	4.7%	2.5%	4.6%
不安	0.0%	9.1%	16.2%	15.1%	16.6%	11.4%	15.7%
イヤだ	0.0%	13.6%	18.0%	10.9%	10.7%	8.9%	11.6%
疲れ	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%	2.7%	2.5%	1.9%
あきらめ	0.0%	0.0%	0.4%	0.5%	1.1%	1.3%	0.7%
つらい・苦しい	0.0%	9.1%	17.3%	24.7%	26.4%	25.3%	24.4%
悲しい	0.0%	9.1%	2.9%	2.6%	1.8%	2.5%	2.3%
孤独・寂しさ	0.0%	13.6%	4.4%	2.2%	2.7%	1.3%	2.8%
人目が気になる	0.0%	0.0%	2.2%	0.8%	1.4%	0.0%	1.2%
自分に自信がない	0.0%	0.0%	2.2%	5.6%	4.1%	3.8%	4.4%
恐怖・怖い	0.0%	4.5%	5.5%	5.5%	4.9%	1.3%	5.1%
くやしい	0.0%	4.5%	0.4%	0.8%	0.7%	0.0%	0.7%
困惑・困っている	0.0%	13.6%	11.0%	8.9%	7.2%	8.9%	8.4%
葛藤・迷い・戸惑い	0.0%	0.0%	4.4%	4.9%	6.6%	7.6%	5.7%
傷つきたくない	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.5%	0.0%	0.6%
傷つけたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.3%
不明	0.0%	9.1%	2.2%	2.8%	2.1%	7.6%	2.6%
その他	0.0%	0.0%	3.7%	3.0%	1.2%	6.3%	2.4%
合計	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※会話成立 54,366 件の内訳。受け手ボランティアが会話の中で感じ取ったものをデータ化。
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計が 100% にならない場合があります。

■主訴（電話）

性別

主訴	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
人間関係	21.5%	13.5%	29.9%	18.0%
いじめ	5.7%	5.8%	5.6%	7.2%
セクハラ	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%
パワハラ	0.5%	0.5%	0.5%	0.3%
体罰	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%
成績・勉強	2.6%	2.4%	2.8%	3.3%
中退	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%
不登校	0.9%	0.5%	1.4%	0.8%
部活	0.9%	0.9%	0.8%	0.3%
虐待	2.6%	2.3%	3.0%	1.8%
家庭内暴力	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%
貧困	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%
両親の不仲について	0.4%	0.2%	0.7%	0.2%
家族との死別	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
ネットトラブル	0.8%	0.6%	1.1%	0.7%
犯罪・暴力	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
習い事	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
遊び	0.4%	0.3%	0.4%	0.6%
性的アイデンティティー	1.0%	1.5%	0.3%	1.2%
性被害	0.6%	0.7%	0.5%	0.1%
妊娠	0.4%	0.4%	0.5%	0.2%
性感染症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性への興味関心等	13.0%	24.5%	1.1%	8.0%
心に関すること	9.5%	7.6%	11.9%	9.5%
自死（自殺）念慮	0.7%	0.3%	1.3%	1.4%
自傷行為	0.6%	0.0%	1.4%	0.3%
薬物乱用・依存	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体に関すること	4.7%	6.3%	2.8%	5.2%
性格のこと	1.0%	0.7%	1.3%	0.5%
容姿・体型のこと	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%
進路・生き方に関すること	3.3%	3.1%	3.5%	1.9%
恋愛	5.3%	5.7%	4.9%	3.1%
デート DV	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
ひきこもり	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
雑談	11.4%	12.5%	9.9%	14.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別（詳細内訳のある主訴）

主訴	内訳	全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
人間関係	学校・フリースクール	13.6%	7.0%	20.5%	12.5%
	部活	1.2%	0.6%	1.7%	0.5%
	家庭	5.6%	4.9%	6.3%	3.9%
	職場	0.3%	0.3%	0.4%	0.2%
	インターネット	0.3%	0.2%	0.5%	0.5%
	習い事	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
	塾	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
	放課後の見守りの場	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
いじめ	学校・フリースクール	5.4%	5.4%	5.2%	6.9%
	部活	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%
	職場	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	インターネット	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
セクハラ	学校・フリースクール	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%
	部活	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
パワハラ	学校・フリースクール	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
	部活	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
虐待	身体的	0.8%	0.4%	1.2%	0.9%
	心理的	0.9%	0.4%	1.4%	0.3%
	性的	1.1%	1.6%	0.5%	1.1%
	ネグレクト	0.3%	0.1%	0.6%	0.2%
	教育虐待	0.2%	0.1%	0.3%	0.5%
ネットトラブル	拡散	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%
	出合い系	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
	料金	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	依存	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
	その他	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
心に関すること	気分の落ち込み	6.5%	4.6%	8.6%	5.9%
	自信の無さ	2.3%	1.7%	2.8%	1.2%
	退屈	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
	恐怖	0.4%	0.3%	0.6%	0.2%
	脅迫観念	0.5%	0.3%	0.6%	0.3%
	過度な家族密着	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%
	嗜癖	0.5%	0.7%	0.2%	0.2%
	その他	1.8%	1.5%	2.0%	3.0%

■主訴（チャット）

性別

主訴	全体 n=2,271	男子 n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
人間関係	31.3%	22.8%	32.3%	34.0%
いじめ	4.8%	7.7%	4.4%	4.0%
セクハラ	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%
パワハラ	0.6%	0.0%	0.7%	0.0%
体罰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成績・勉強	2.6%	3.7%	2.4%	4.0%
中退	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
不登校	3.3%	3.3%	3.2%	4.0%
部活	1.0%	0.4%	1.0%	2.0%
虐待	2.6%	2.3%	3.0%	1.8%
家庭内暴力	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%
貧困	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%
両親の不仲について	0.4%	0.2%	0.7%	0.2%
家族との死別	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
ネットトラブル	0.8%	0.6%	1.1%	0.7%
犯罪・暴力	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
習い事	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
遊び	0.4%	0.3%	0.4%	0.6%
性的アイデンティティー	1.0%	1.5%	0.3%	1.2%
性被害	0.6%	0.7%	0.5%	0.1%
妊娠	0.4%	0.4%	0.5%	0.2%
性感染症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性への興味関心等	2.3%	3.7%	2.2%	1.0%
心に関すること	9.5%	7.6%	11.9%	9.5%
自死（自殺）念慮	0.7%	0.3%	1.3%	1.4%
自傷行為	0.6%	0.0%	1.4%	0.3%
薬物乱用・依存	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体に関すること	4.7%	6.3%	2.8%	5.2%
性格のこと	1.0%	0.7%	1.3%	0.5%
容姿・体型のこと	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%
進路・生き方に関すること	3.3%	3.1%	3.5%	1.9%
恋愛	5.3%	5.7%	4.9%	3.1%
デート DV	1.4%	2.0%	1.4%	0.0%
ひきこもり	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
雑談	11.4%	12.5%	9.9%	14.1%
その他	2.6%	1.2%	2.6%	5.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別（詳細内訳のある主訴）

主訴	内訳	全体 n=2,271	男子 n=246	女子 n=1,925	不明 n=100
人間関係	学校・フリースクール	19.9%	14.6%	20.4%	24.0%
	部活	2.9%	2.4%	3.1%	1.0%
	家庭	7.2%	3.7%	7.7%	7.0%
	職場	0.4%	0.0%	0.4%	1.0%
	インターネット	0.6%	2.0%	0.4%	0.0%
	習い事	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
	塾	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	放課後の見守りの場	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いじめ	学校・フリースクール	4.4%	7.7%	4.1%	4.0%
	部活	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
	職場	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インターネット	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
セクハラ	学校・フリースクール	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%
	部活	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
パワハラ	学校・フリースクール	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
	部活	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%
虐待	身体的	1.1%	0.0%	1.2%	2.0%
	心理的	2.6%	0.8%	2.9%	2.0%
	性的	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
	ネグレクト	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
	教育虐待	0.4%	0.8%	0.4%	0.0%
ネットトラブル	拡散	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	出合い系	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
	料金	0.1%	0.8%	0.0%	0.0%
	依存	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.2%	0.8%	0.1%	0.0%
心に関すること	気分の落ち込み	10.5%	6.5%	11.2%	8.0%
	自信の無さ	5.2%	8.5%	4.8%	4.0%
	退屈	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%
	恐怖	0.5%	0.4%	0.5%	2.0%
	脅迫観念	1.4%	2.0%	1.4%	0.0%
	過度な家族密着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	嗜癖	0.4%	0.8%	0.3%	0.0%
	その他	2.0%	0.4%	2.0%	5.0%

統計データ

深刻な主訴（電話）

性別

主訴		全体 n=52,548	男子 n=26,466	女子 n=25,417	不明 n=665
いじめ		3,006 件	1,546 件	1,412 件	48 件
	加害	89 件	48 件	38 件	3 件
	傍観	181 件	59 件	116 件	6 件
	被害	2,736 件	1,439 件	1,258 件	39 件
虐待		1,737 件	679 件	1,039 件	19 件
	身体的	414 件	95 件	313 件	6 件
	心理的	476 件	113 件	361 件	2 件
	性的	554 件	413 件	134 件	7 件
	ネグレクト	181 件	27 件	153 件	1 件
	教育虐待	112 件	31 件	78 件	3 件
犯罪・暴力		132 件	65 件	67 件	0 件
家庭内暴力		186 件	62 件	116 件	8 件
パワハラ		252 件	126 件	124 件	2 件
セクハラ		196 件	123 件	73 件	0 件
性被害		251 件	176 件	74 件	1 件
デート DV		47 件	38 件	19 件	24 件
	加害	13 件	4 件	9 件	0 件
	被害	34 件	34 件	10 件	24 件
体罰		63 件	42 件	20 件	1 件
不登校		473 件	123 件	345 件	5 件
ひきこもり		66 件	38 件	28 件	0 件
自死 (自殺) 念慮		605 件	151 件	434 件	20 件
自傷行為		338 件	73 件	260 件	5 件
薬物乱用・依存		41 件	14 件	27 件	0 件
ネットトラブル		587 件	236 件	348 件	3 件
	拡散	75 件	27 件	48 件	0 件
	出合い系	42 件	16 件	26 件	0 件
	料金	64 件	25 件	38 件	1 件
	依存	41 件	21 件	20 件	0 件
	その他	365 件	147 件	216 件	2 件

深刻な主訴（チャット）

性別

主訴		全体 n=451	男子 n=52	女子 n=379	不明 n=20	前年度比
いじめ		108 件	19 件	85 件	4 件	19 件
	加害	0 件	0 件	0 件	0 件	23 件
	傍観	7 件	0 件	7 件	0 件	-25 件
	被害	101 件	19 件	78 件	4 件	-87 件
虐待		105 件	4 件	97 件	4 件	119 件
	身体的	26 件	0 件	24 件	2 件	75 件
	心理的	59 件	2 件	55 件	2 件	-32 件
	性的	3 件	0 件	3 件	0 件	45 件
	ネグレクト	8 件	0 件	8 件	0 件	39 件
	教育虐待	9 件	2 件	7 件	0 件	-8 件
犯罪・暴力		3 件	1 件	2 件	0 件	-13 件
家庭内暴力		16 件	0 件	16 件	0 件	-19 件
パワハラ		14 件	0 件	14 件	0 件	-5 件
セクハラ		7 件	0 件	7 件	0 件	11 件
性被害		7 件	1 件	6 件	0 件	-50 件
デート DV		8 件	3 件	2 件	3 件	9 件
	加害	2 件	0 件	2 件	0 件	8 件
	被害	3 件	3 件	0 件	3 件	1 件
体罰		0 件	0 件	0 件	0 件	-57 件
不登校		74 件	8 件	62 件	4 件	-47 件
ひきこもり		1 件	0 件	1 件	0 件	-24 件
自死 (自殺) 念慮		55 件	9 件	42 件	4 件	208 件
自傷行為		39 件	1 件	37 件	1 件	110 件
薬物乱用・依存		0 件	0 件	0 件	0 件	14 件
ネットトラブル		14 件	6 件	8 件	0 件	-44 件
	拡散	2 件	0 件	2 件	0 件	-18 件
	出合い系	1 件	0 件	1 件	0 件	-18 件
	料金	2 件	2 件	0 件	0 件	-2 件
	依存	0 件	0 件	0 件	0 件	5 件
	その他	9 件	4 件	5 件	0 件	-11 件

ご提供できる資料・報告書

チャイルドライン
子どもの実態調査
報告書 2018
（2019. 3 月発行）

災害時における
子どものこころのケア
被災地からの
子どもの声に応える
（2016. 3 月発行）

子どもの声の
分析プロジェクト報告書
自己肯定感が育ちにくい
今の社会を子どもの
声から考える
（2016. 3 月発行）

東日本大震災
子どもたちへの影響
チャイルドラインに
寄せられた子どもの
声の記録から
（2015.3 月発行）

チャイルドライン
全国フォーラム
2018in 九州 報告書
（2019. 3 月発行）

チャイルド・
ヘルプラインの
電話相談実践ガイド
（2011. 3 月発行）

2018
チャイルドライン
年次報告
（2018.8 月発行　在庫希少）

活動紹介
リーフレット
（B4、2 つ折り、
両面カラー）

気持ちを聴く
チャイルドラインが
大切にしていること

※在庫状況、資料提供にかかる費用については事務局までお問合せください。

2019チャイルドライン年次報告
CHILDLINE ANNUAL REPORT

発行日　2019年8月15日　第1版　第1刷
発行人：松江比佐子　梅澤元彦
発　行：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター(認定NPO)
〒162-0808　東京都新宿区天神町14　神楽坂藤井ビル5階
TEL：03-5946-8500　FAX：03-5946-8501
E-mail：info@childline.or.jp　URL:https://childline.or.jp
表紙･レイアウト･デザイン:イノウデザイン株式会社
印刷製本 :株式会社グラフィック

※無断で複製･転載することを禁じます
※「**チャイルドライン。**」および「チャイルドライン･キャラクター」は特定非営利活動法人チャイルドライン支援センターの登録商標です。

チャイルドライン®

KEIRIN
公益財団法人ＪＫＡ
競輪補助事業 http://hojo.keirin-autorace.or.jp/